

昭和62年度水稻作関係

除草剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

昭和62年度水稻作関係除草剤試験成績中央検討会は、昭和62年12月14～15日の2日間、東京・国労会館において開催された。なお、適1試験は中央検討会に先がけ、昭和62年10月12日植調会館にて開催された。これらの結果の概要を報告する。

1) 第1次適用性試験(適1)試験について

昭和62年度の適1試験は、北海道地域(植調岩見沢試験地)、東北地域(植調古川試験地)、北陸地域(植調新潟第1試験地)、関東地域(植調研究所)、近畿地域(植調滋賀試験地)、中国地域(植調広島試験地)、九州地域(植調佐賀試験地)の全国7地域で54薬剤(のべ330点)について実施した。その判定結果は、第1表のとおりである。

2) 第2次適用性試験(適2)試験について

昭和62年度の適2試験は、次のような試験区分で実施した。すなわち、稚苗移植栽培の移植

前土壌混和处理(Ⅱ-1, 1剤5点)、移植前後土壌処理(Ⅱ-2, 1剤11点)、移植後土壌処理(Ⅱ-3, 41剤494点)、茎葉兼土壌処理(Ⅱ-4, 3剤41点)、適用時期拡大(Ⅱ-5, 8剤104点)、特殊雑草防除(Ⅱ-6, のべ41剤133点)、クログワイ徹底防除9剤32点)、湛水直播栽培用(Ⅲ-1, 8剤48点)、乾田直播栽培用(Ⅱ-2, 3剤8点)、畦畔雑草用(Ⅳ, 11剤74点)、耕起前雑草用(Ⅴ, 6剤32点)、体系是正用の初期一発剤(Ⅶ-1, 15剤196点)、初・中期一発剤(Ⅶ-2, 16剤248点)、長期持続型一発剤(Ⅶ-3, 6剤35点)、一発処理剤の補正散布(Ⅶ-4, 7剤42点)の総のべ点数が1,503点であった。これら適2試験の判定結果は第2表、実用化可能と判定された除草剤の使用基準は第3表のとおりである。

第1表 昭和62年度水稻作関係除草剤適1試験成績判定結果一覧表

No.	薬剤名・剤型 (委託会社名)	有効成分および 含有率(%)	試験実施場所別総合評価							中央判定結果概要
			北海道	東北	北陸	関東	近畿	中国	九州	
1.	CG-155B 粒 〔日本チバガイギー〕	プレチラクロール 1 CG-148 0.2 BAS-514 0.7	○			□	○			寒地～温暖地○
2.	CG-155B① 粒 〔日本チバガイギー〕	プレチラクロール 1 CG-148 0.15 BAS-514 0.7	◎	◎	○ (□	□	○	○	○	全域○

No	薬剤名・剤型 〔委託会社名〕	有効成分および 含有率(%)	試験実施場所別総合評価							中央判定結果概要
			北海道	東北	北陸	関東	近畿	中国	九州	
3.	DM-72 粒 〔日本モンサント〕	未公開(既知) 0.25 MON-72(未) 0.4	◎	◎	◎	◎				寒地～温暖地東部○
4.	DM-72① 粒 〔日本モンサント〕	未公開(既知) 0.17 MON-72(未) 0.4			◎	◎	□	◎	□	寒冷地南部・温暖地東部○ 温暖地西部以西□
5.	DPX-65 粒 〔デュポンジャパン〕	新規化合物(未) 0.07	□	◎	△ }	□	○	△	△	全域□(混合母剤として)
6.	DPX-65⑧ 粒 〔デュポンジャパン〕	新規化合物(未) 0.25		○		□		□		全域□(混合母剤として)
7.	DPX-84AS 粒 〔クミアイ化学・デュポン ジャパン・住友化学〕	ベンスルフロンメチル 0.17 ベンチオカーブ 5 プロモブチド 3	□	◎	◎ } ○	◎	○	◎	○	全域○
8.	DPX-84K 粒 〔クミアイ化学・デュポン ジャパン〕	ベンスルフロンメチル 0.25 KUH-871(未) 3	□	◎	◎ } ○	○				寒地□ 寒冷地・温暖地東部○
9.	DPX-84K① 粒 〔クミアイ化学・デュポン ジャパン〕	ベンスルフロンメチル 0.17 KUH-871(未) 2			◎ } ○	◎	○	◎	□	寒冷地南部・温暖地○ 暖地□
10.	DPX-84MS 粒 〔プッシュ研究会(事; 北興化学)〕	ベンスルフロンメチル 0.17 ジメピペレート 6 プロモブチド 3	○	◎	◎ } ○	◎				寒地～温暖地東部○
11.	DPX-84SKH 粒 〔DPX-84SKH研 究会(事; 北興化学)〕	ベンスルフロンメチル 0.25 SKH-301 0.3	◎	□	◎ } ○					寒地・寒冷地□
12.	DPX-84SKH①粒 〔DPX-84SKH研 究会(事; 北興化学)〕	ベンスルフロンメチル 0.17 SKH-301 0.3			◎ } ○	□	○	□	□	寒冷地南部以西□
13.	DPX-84TD① 粒 〔DPX-84TD研 究会(事; デュポン ジャパン)〕	ベンスルフロンメチル 0.17 メフェナセット 3.5 ダイムロン 1.5			◎ } ○	◎	◎	○	□	寒冷地南部以西○
14.	HOK-502 粒 〔北興化学〕	新規化合物(未) 0.3		○	□ } △	□				△(効果・薬害)
15.	HSW-871 粒 〔チバガイギー・北海三 共〕	プレチラクロール 1.5 ピラゾレート 8 ジメタメトリン 0.2	◎	◎						寒地・寒冷地北部◎
16.	KH-243 粒 〔アグロカネショウ〕	KH-218 1.5 ベンゾフェナップ 5 ACN 3	○	◎	○ } □	◎	○	○	○	全域○
17.	KH-244 粒 〔アグロカネショウ〕	KH-218 2 ベンゾフェナップ 5	□	◎	○ } □	○	○	○	○	寒地□ 寒冷地以西○

No.	薬 剤 名・剤 型 〔 委 託 会 社 名 〕	有効成分および 含 有 率 (%)	試験実施場所別総合評価							中央判定結果概要
			北海道	東北	北陸	関東	近畿	中国	九州	
18.	KUH-871 粒 〔クミアイ化学〕	新規化合物(未) 3	△	◎ ↓ ○	○ ↓ □	○	○	○	○	全域□(混合母剤として)
19.	MON-72 粒 〔日本モンサント〕	MON-72(未) 0.4	□	□	○	□	□	◎	□	全国□(混合母剤として)
20.	MT-333 粒 〔三井東圧化学〕	MT-128(未) 4 BAS-514 1 ベンゾフェナップ 5	□	◎ ↓ ○	○	◎	○	◎	○	寒地□ 寒冷地以西○
21.	MY-642 粒 〔三菱油化〕	ジメピペレート 6 ベンゾフェナップ 4 クロメプロップ 2	□	◎	◎ ↓ ○	◎ ↓ ○	○	□	○	寒地□ 寒冷地以西○(ミズガヤツリを除く)
22.	MY-93FS 粒 〔三菱油化〕	ジメピペレート 6 クロメプロップ 2 プロモブチド 4	□	○	◎ ↓ ○	◎ ↓ ○	○	□	◎	全域○
23.	NC-311H 粒 〔日産化学・保土谷化学〕	NC-311 0.07 HW-52 5	◎	◎ ↓ ○	◎	◎	○	○	◎	全域○
24.	NC-311K 粒 〔日産化学・徳山曹達〕	NC-311 0.07 NSK-850 0.9	□	○	◎	□	□	○	□	全域□
25.	NC-316 粒 〔日産化学工業〕	NC-311 0.07 未公開(既知) 3.5	○	◎	◎	◎	◎	□	○	全域○
26.	NC-317 粒 〔日産化学・住友化学〕	NC-311 0.07 BAS-514 0.9 プロモブチド 3	◎	◎	◎	◎	□	○	○	全域○
27.	NCM-72 粒 〔日本モンサント〕	未公開(既知) 0.07 MON-72(未) 0.4	○	○	◎ ↓ ○	◎	○	◎	○	全域○
28.	NCT-318 粒 〔日産化学・東ソー〕	NC-311 0.07 BAS-514 0.9 TSH-888 3	◎	◎	◎ ↓ ○	◎	◎	○	○	全域○～◎
29.	NC-YH 粒 〔日産化学・八洲化学〕	NC-311 0.07 モリネート 6 プロモブチド 3	○	◎	○	◎ ↓ ○	□	○	□	寒地～温暖地東部○ 温暖地西部以西□
30.	NSK-850S 粒 〔徳山曹達・三共化学〕	NSK-850 0.75 ピラゾレート 6	□	◎	□	□	○	○ ↓ □	□	全域□
31.	NTN-806① 粒 〔日本特殊農薬〕	メフェナセット 4 シメトリン 1.5 MCPB 0.8	○	○	○ ↓ □	□	□	○	□	寒地・寒冷地○ 温暖地以西□
32.	RM-820フロアブル 〔ローヌプーランagro・三菱油化〕	オキサジアゾン 8 ベンゾフェナップ(MY-71) 20	△	○	×	○	○	○	□	寒地・寒冷地□ 温暖地○, 暖地□
33.	2S 粒 〔シェル化学・三共〕	SKH-301 0.2 ピラゾレート 6	□	□	□	○	○	□	□	寒地・寒冷地□ 温暖地東部○, 温暖地西部以西□

No.	薬 剤 名 ・ 剤 型 〔委託会社名〕	有効成分および 含 有 率 (%)	試験実施場所別総合評価							中央判定 結果概要
			北海道	東北	北陸	関東	近畿	中国	九州	
34.	3 S 粒 〔シェル化学・三共〕	SKH-301 0.2 ピラゾレート 4 プロモブチド 4	△	×	△	△	△	△ } ×	△	全域△(薬害)
35.	SKH-301 粒 〔SKH-301研究会 (事; シェル化学)〕	SKH-301 0.2	□	□	□	□	□	□	△	全域□(混合母剤として)
36.	SKH-8602 粒 〔日産化学・シェル化学〕	NC-311 0.07 SKH-301 0.3	□	△	○	□	○	□	△	全域□
37.	SL-653 粒 〔SL-49研究会(事; 石原産業)・シェル化学〕	ピラゾキシフェン 5 SKH-301 0.2 未公開(既知) 1.5	○	□	○	□	□	□	△	全域□
38.	SL-654 粒 〔石原産業〕	新規化合物(スルホニル ウレア系) 0.1	○	◎ } ○	◎ } ○	○	○	○	□	全域□(混合母剤として)
39.	SL-655 粒 〔石原産業〕	SL-654(未) 0.1 BAS-514 1	◎	◎	○	◎	○	○	□	寒地～温暖地○ 暖地□
40.	SL-656 粒 〔石原産業〕	SL-654(未) 0.1 未公開(既知) 7	○	◎	◎ } ○	◎	◎	○	□	寒地～温暖地○ 暖地□
41.	SLT-651 粒 〔SL-49研究会・住 友友化学・東ソー〕	ピラゾキシフェン 5 プロモブチド 4 TSH-888 3.5	□	◎	◎ } ○	◎ } ○	○	○	○	寒地□ 寒冷地以西○
42.	SLT-657 粒 〔石原産業・東ソー〕	SL-654(未) 0.1 BAS-514 0.7 TSH-888 3	○	◎	◎ } ○	◎	○	○	○	全域○～◎
43.	SM-15 粒 〔シェル化学・三菱油化〕	SKH-301 0.2 クロメブロップ(MY- 15) 1.5	△	□	○ } □	□	○	△	□	全域□
44.	SM-71 粒 〔SM-71研究会(事; 三菱油化)〕	SKH-301 0.2 ベンゾフェナップ(MY- 71) 5	△			□		□	□	全域□
45.	SM-715 粒 〔シェル化学・三菱油化〕	SKH-301 0.2 クロメブロップ 1.5 ベンゾフェナップ 4	△	□	○	○	○	△	□	全域□
46.	SMS-15 粒 〔シェル化学・三菱油化〕	SKH-301 0.2 クロメブロップ 1.5 プロモブチド 4	◎	×		□		△	△	寒地□ 寒冷地以西△(薬害)
47.	SMS-71 粒 〔シェル化学・三菱油化〕	SKH-301 0.2 ベンゾフェナップ 4 プロモブチド 4	◎	×		□		△ } ×	□	寒地□ 寒冷地以西△(薬害)
48.	SUM-72 粒 〔住友化学・日本モンサ ント〕	プロモブチド 4 MON-72(未) 0.4	◎	◎	◎ } ○	○	□	◎	□	寒地～温暖地東部○(ウリカワを 除く), 温暖地西部・暖地□

No.	薬 剤 名・剤 型 〔委託会社名〕	有効成分および 含 有 率 (%)	試験実施場所別総合評価							中央判定結果概要
			北海道	東北	北陸	関東	近畿	中国	九州	
49.	TH-913A 粒 〔武田薬品工業〕	TH-913(未) 0.25 未公開(既知) 1	◎	◎	◎ ↓ ○	◎	○	◎	○	全域○
50.	TSJ-715 粒 〔徳山曹達・カーリット〕	NSK-850 0.75 JC-940 5 クロメプロップ 1.5		◎		□		□	△	寒冷地以西□
51.	TSM-612 フロアブル 〔東ソー・住友化学・三菱油化〕	TSH-888 6 プロモブチド 10 ベンゾフェナップ 12	(△)	◎ ↓ ○	◎ ↓ ○	◎	○	◎	○	寒冷地以西○～◎
52.	TSS-344 粒 〔東ソー・三共・住友化学〕	TSH-888 3.5 ピラゾレート 4 プロモブチド 4	□	◎	○ ↓ □	◎	○	◎	○	寒地□ 寒冷地以西○
53.	TTS-374 粒 〔東ソー〕	TSH-888 3.5 ナプロアニリド 7 プロモブチド 4	□	◎	○ ↓ □	○	○	□	□	寒地□, 寒冷地・温暖地東部○ 温暖地西部以西□
54.	Y-873 粒 〔山本農薬〕	ブタミホス 3.5 プロモブチド 3	○	◎	◎ ↓ ○	○	○	○	○	全域○(一年生雑草, マツバイ, ホタルイ対象)

注) 上記判定欄の記号については, ◎; 極めて有望, ○; 有望, □; 可能性あり, △; 再検討, ×; 見込なし, を表わす。

第2表 昭和62年度水稲作関係除草剤適2試験成績判定結果一覧表

判 定 区 分	実	実 ・ 継	継	継?	中止
II-1. 土壤混和処理		SRFフロアブル.			
II-2. 移植前後土壤処理		JC-513粒.			
II-3. 移植後土壤処理	ACN粒, プロメトリン粒.	CG-113D粒, CGM-15 粒, KH-218粒, MSS- 148粒, MSS-148◎粒, MT-332粒, MT-CG◎D 粒, MY-642粒, MY-93 ES粒, NSK-85M粒, RP J-841粒, SL-495粒, SL-496◎粒, SL-498 粒, SL-652粒, SLT- 651粒, STS-735粒, T SH-355粒, TSJ-756 粒, TSS-344粒, Y-873 粒, CG-155B粒, CG- 155B◎粒, DPX-84A粒, DPX-84AS粒, NC-311 G粒, NC-311M粒, NC- 311R粒, ◎CG-SW◎S粒, DPX-84CG粒, HSW-871粒, KSS粒, DPX-84SC粒.	MON-72粒, MY-93FS粒, NSK-850粒, SKH-301粒, SUM-72粒, TJM-354粒, TSM-612フロアブル, DPX-84SKH粒, DPX-84SKH◎粒, NCM-72粒.		

判定 区分	実	実・継	継	継?	中止
II-4. 茎葉兼土壌処理		BAS-521粒, BAS-521水和, NTN-806㊦粒.			
II-5. 適用時期拡大		BAS-521粒, BAS-521水和, CG-SW㊦D粒, DPX-84A粒, DPX-84A㊦粒, NC-311粒, NTN-806㊦粒, S-28H粒.			
II-6-(1) クログワイ対象			(有効であるので, 徹底防除の項で継続検討) BAS-3510(Na)㊦液, BAS-521水和, DPX-84粒, DPX-84B粒, DPX-84B㊦粒, DPX-84CG粒, DPX-84CG㊦粒, DPX-84SC㊦粒, NC-311粒, NC-311B㊦粒, NC-311R粒, NC-YH粒. (徹底防除-試験継続中) BAS-3510(Na)㊦液, DPX-84粒, DPX-84A粒, DPX-84A㊦粒, DPX-84M粒, DPX-84M㊦粒, DPX-84SC粒, DPX-84T㊦粒, NC-311粒.		
II-6-(2) オモダカ対象		BAS-3510(Na)㊦液, BAS-521粒, DPX-84粒, NC-311粒, NC-311B㊦粒.			
II-6-(3) セリ対象		BAS-521粒, BAS-521水和, NC-311粒, NC-311B㊦粒.			
II-6-(5) シズイ対象		BAS-521粒, BAS-521水和, DPX-84SC粒.	DPX-84粒, DPX-84B粒, DPX-84CG粒, NC-311粒, NC-311B㊦粒, NC-311R粒.		
II-6-(6) エゾノサヤヌカグサ対象		DPX-84B粒, DPX-84CG粒, DPX-84SC粒, NC-311B㊦粒, NC-311R粒.			
II-6-(8) コウキヤガラ対象		BAS-3510(Na)㊦液, DPX-84SC㊦粒.	DPX-84A粒, DPX-84M粒, DPX-84SC粒, DPX-84T粒.		
III-1. 湛水直播		CG-SW㊦(改)粒, DPX-84A㊦粒, DPX-84M㊦粒, MY-93E粒, SL-496㊦(改)粒, SL-708粒,	DPX-84SC㊦粒, NC-311H粒.		
III-2. 乾田直播		HW-61水和.	DPX-84M㊦粒, HOK-05M粒.		
IV 畦畔雑草		DDX水和, グリホサート液, グリホサート水溶, Hoe-866液,	改良C-MH液.		

判定 区分	実	実・継	継	継?	中止
IV 畦畔雑草(つづき)		HOK-15①細粒, MON-8794液, MR-28液, MW-831水溶, MW-DC水和, YF-65①液.			
V 耕起前	YF-65①液.	グリホサート液, グリホサート水溶, Hoe-866液, MON-8794液, MW-831水溶.			
VII 体系是正		CG-SW①D粒, CG-SW①S粒, DPX-84A①粒, DPX-84CG粒, DPX-84CG①粒, DPX-84M①粒, KSS粒, PSS粒, S-473①粒, SL-495粒, TSM-344粒, DPX-84A粒, DPX-84M粒.	HSW-871粒, PSS①粒.		
VII-2. 初・中期一発処理剤		BSS粒, DPX-84B粒, DPX-84B①粒, DPX-84SC粒, DPX-84SC①粒, DPX-84T粒, DPX-84T①粒, DPX-84TD①粒, FSS-115粒, NC-311B①粒, SL-641粒, YH-453粒.	NC-317粒, NCT-318粒, NC-YH粒, SL-655粒.		
VII-3. 長期持続型一発処理剤		NH-725粒.	DPX-84AS粒, DPX-84AS①粒, DPX-84MS粒, NH-726粒, TSM-344①粒.		
VII-4-(1) 一発処理剤の補正散布法	DPX-84A粒, DPX-84M粒.				
VII-4-(2) 補正散布(初期)	ブタクロール2.5粒, MO-338粒, MTS-1粒, G-315乳, G-315B乳.				

注: 1) 本年度新規に使用基準の作成されたものは、薬剤名にアンダーラインを記した。
2) 本年度は「継?」および「中止」と判定された薬剤はなかった。

第3表 昭和62年度水稻作関係除草剤使用基準一覧表

区分	薬剤名	処理	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
II-1. 稚苗土壌混和処理	① SRFフロアブル	土壌混和処理	全域の普通期.	一年生雑草・マツバイ.	植代時整地板前 (-7~-4) 〔但し、寒地・暖地は-4のみ.〕	50 ml/a	砂壌土~埴土(2cm/日以下) 〔但し、暖地は(1.5cm/日以下). 寒地の砂壌土は(1.5	(1) 混和時の水深3~5cm. (2) 混和深2~3cm. (3) 吸着の悪い土壌(砂壌土, 腐植含量の少ない土壌)では水の動きの少ない場合は

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ-1. (つづき)							cm/日以下). 温暖地東部は砂壌土を除く.	葉害の発生の危険があるので十分注意する.
Ⅱ-2. 移植前後土壌処理	① JC-513 粒	土壌処理	温暖地以北の普通期.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ 〔但し、ミズガヤツリは寒冷地・温暖地東部のみ、ヘラオモダカは寒冷地北部以北のみ.〕	-5~-4, +3~+5 (ノビエ 1Lまで) 〔但し、寒冷地南部, 温暖地西部 (近畿・中国) は+3~+5のみ.〕 ホタルイ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 発生始まで.	300 g/a	砂壌土~埴土 (2cm/日以下) 〔但し、砂壌土は寒冷地南部・温暖地西部 (近畿・中国) のみ. 温暖地西部は (1.5cm/日以下).〕	(1) 深水での処理はさける.
Ⅱ-3. 移植後土壌処理	① CG-113 D粒 (パレージ)	土壌処理	全域の <u>早期・普通期</u> .	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・アオミドロ・表層剥離. 〔但し、ミズガヤツリは寒冷地・温暖地のみ. ヘラオモダカは温暖地東部以北の普通期のみ. 表層剥離は暖地普通期を除く.〕	+3~ノビエ 1.5 Lまで. ホタルイ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 発生始まで. 〔但し、温暖地東部普通期のミズガヤツリは発生前.〕 アオミドロ・表層剥離; 発生前. 〔但し、寒地・温暖地西部早期は発生前~始.〕	300 g/a	砂壌土~埴土 (2cm/日以下). 〔但し、寒地の砂壌土は (1.5cm/日以下). 温暖地東部早期・温暖地西部・暖地早期は砂壌土を除く. 暖地普通期は埴壌土~埴土.〕	
	② CGM-15 粒 (センチ*)	土壌処理	全域の <u>早期・普通期</u> . 〔但し、暖地の早期は除く.〕	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ. 〔但し、ウリカワは暖地のみ, ミズガヤツリは温暖地東部普通期・温暖地西部 (四国普通期を除く)・暖地のみ. ヘラオモダカは温暖地東部以北の普通期のみ.〕	±3~ノビエ 1.5 Lまで. ホタルイ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 発生始まで. 〔但し、寒地・温暖地西部普通期のホタルイ, 寒地のヘラオモダカは 2 Lまで.〕 ウリカワ; 2 Lまで.	300 g/a	埴土~埴土 (2cm/日以下). 〔但し、温暖地西部 (近畿・中国) の普通期・暖地は (1.5cm/日以下). 温暖地の早期・温暖地西部 (四国) の普通期は (1cm/日以下). 砂壌土 (1.5cm/日以下). 〔但し、寒地・暖地〕	

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ-3. 移植後土壌処理 (つづき)	② CGM-15 粒 (つづき)						の普通期のみ。 温暖地西部は(1cm/日以下)。	
	③ KH-218 粒	土壌処理	寒冷地北部・温暖地の普通期。 〔但し、温暖地西部は四国を除く。〕	一年生雑草・マツバイ。	+3～ノビエ1.5Lまで。 〔但し、寒冷地・温暖地東部は+3～+7(ノビエ1Lまで)〕	300 g/a	壤土～埴土(2cm/日以下)。 〔但し、温暖地西部は(1cm/日以下)〕	(1) コナギ多発田では早目に使用する。
	④ MSS-148 粒 (ピリカーナ)	土壌処理	温暖地西部以西の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ミズガヤツリ。 〔但し、ミズガヤツリは暖地普通期のみ。〕	+5～ノビエ2Lまで。 ホタルイ; 2Lまで。 〔但し、暖地は発生始まで。 ミズガヤツリ; 発生始まで。〕	300 g/a	砂壤土～埴土(2cm/日以下)。 〔但し、温暖地西部の早期は埴土～埴土(1cm/日以下)。 温暖地西部の普通期は埴土～埴土(近畿・中国1.5cm/日以下、四国1cm/日以下)〕	(1) 広葉多発田での使用はさける。 (2) 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用する。
	⑤ MSS-148 ①粒	土壌処理	暖地の普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ。	+5～ノビエ1.5Lまで。 ホタルイ; 発生始まで。	300 g/a	埴土～埴土(1cm/以下)。	(1) 広葉多発田での使用はさける。
	⑥ MT-332	土壌処理	全域の普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ。 〔但し、ミズガヤツリは寒地を除く。ヘラオモダカは寒冷地以北のみ。〕	+3～ノビエ1.5Lまで。 〔但し、寒冷地以北は+5～ノビエ1.5Lまで。〕 ホタルイ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 発生始まで。 〔但し、温暖地(四国を除く)のホタルイは2Lまで。〕	300 g/a	砂壤土～埴土(1.5cm/日以下)。 〔但し、砂壤土は暖地のみ。温暖地東部以北は埴土～埴土(2cm/日以下)〕	(1) 田植前に生育したミズガヤツリは完全に防除してから使用する。
	⑦ MT-CG ①D粒 (ヨートルD)	土壌処理	全域の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・アオミドロ・表層剥離・ウキクサ。 〔但し、ウリカワ〕	+3～ノビエ1.5Lまで。 ホタルイ・ウリカワ・ヘラオモダカ; 2Lまで。 〔但し、早期・温暖地西部以西の普通期のホタ	300 g/a	砂壤土～埴土(2cm/日以下)。 〔但し、暖地普通期は(1.5cm/日以下)。 寒地・温	

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
II-3. 移植後土壌処理 (つづき)	⑦ MT-CG ①D粒 (つづき)			は寒地・暖地の普通期のみ。ミズガヤツリは寒冷地・温暖地の普通期・温暖地西部以西の早期のみ。ヘラオモダカは寒冷地以北・温暖地西部の普通期のみ(四国を除く)。ウキクサは温暖地西部の普通期のみ(四国を除く)。アオミドロ・表層剥離は暖地の早期を除く。	ルイは発生始まで。温暖地西部(近畿・中国)のヘラオモダカは発生始まで。ミズガヤツリ; 発生始まで。 〔但し、温暖地西部の早期は2Lまで。〕 アオミドロ・表層剥離; 発生前。 〔但し、寒地は発生前〜始まで。〕 ウキクサ; 発生前。		暖地西部普通期(近畿・中国)の砂壤土は(1.5cm/日以下)。寒冷地・温暖地西部普通期(四国)は(1cm/日以下)。温暖地東部普通期・暖地の早期は壤土〜埴土(2cm/日以下)。温暖地の早期は埴土〜埴土(1cm/日以下)。	
	⑧ MY-642 粒	土 壌 処 理	温暖地以西の普通期。 〔但し、温暖地西部は四国のみ。〕	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ヒルムシロ。 〔但し、ヒルムシロは暖地を除く。〕	+3〜ノビエ1.5Lまで。 ホタルイ; 発生始まで。 ウリカワ; 2Lまで。 〔但し、温暖地東部は発生始まで。〕 ヒルムシロ; 発生前。	300 g/a	埴土〜埴土(2cm/日以下)。 〔但し、温暖地西部は(1cm/日以下)。〕 暖地は埴土〜埴土(1cm/日以下)。	
	⑨ MY-93 ES粒	土 壌 処 理	全域の普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ。 〔但し、ミズガヤツリは温暖地以西のみ。オモダカは温暖地西部のみ。ヘラオモダカは寒冷地北部以北のみ。ヒルムシロは寒冷地を除く。〕	+1〜ノビエ1.5Lまで。 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 発生始まで。 〔但し、温暖地のホタルイ・温暖地西部のウリカワは2Lまで。温暖地西部のミズガヤツリは発生前。〕 オモダカ; 発生前。 ヒルムシロ; 発生前。 〔但し、寒地・暖地は発生始まで。〕	300 g/a	砂壤土〜埴土(2cm/日以下)。 〔但し、暖地は(1.5cm/日以下)。〕 寒地の砂壤土は(1.5cm/日以下)。寒冷地北部・温暖地東部は埴土〜埴土(2cm/日以下)。 温暖地西部は埴土〜埴土(1cm/日以下)。	(1) 泥炭質土壌ではウリカワに対する効果が低下することがある。

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ — 3. 移植後土壌処理（つつき）	⑩ NSK-85 M粒	土 壌 処理	寒地・温暖 地西部の普 通期.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・ヘラオモ ダカ・ヒルムシロ. 〔但し、ミズガヤ ツリは温暖地西 部（四国）のみ。 ヘラオモダカ・ ヒルムシロは寒 地のみ。〕	+3～ノビエ2 L まで。 〔但し、温暖地西 部（近畿・中国） は+5～ノビエ 2 Lまで。 ホタルイ・ミズガ ヤツリ；発生始ま で。 ウリカワ・ヘラオ モダカ；2 Lまで。 ヒルムシロ；発生 期。〕	300 g/a	壤土～埴土 （2 cm/日 以下）。 〔但し、温 暖地西部 は（1 cm /日以下）。〕	(1) ホタルイ・コ ナギ多発田では 早目に使用する。 (2) 泥炭質土壌で はウリカワに対 する効果が低下 することがある。 (3) ホタルイ多発 田では、ホタル イに有効な中・ 後期剤との組合 わせで使用する。
	⑪ RPJ-841 粒	土 壌 処理	寒冷地・温 暖地の普通 期、温暖地 東部の早期。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ。 〔但し、ホタルイ は温暖地東部を 除く。〕	+3～+10（ノビ エ1 Lまで）。 〔但し、温暖地の 普通期は+3～ +5、早期は+ 3～+7。 ホタルイ・ウリカ ワ；発生始まで。〕	300 g/a	壤土～埴土 （2 cm/日 以下）。 〔但し、温 暖地西部 は（1 cm /日以下）。 温暖地東 部は埴土 ～埴土 （早期1 cm/日以 下、普通 期2 cm/ 日以下）。〕	(1) マツバイ多発 田での使用はさ ける。
	⑫ SL-495 粒 （ノックワン）	土 壌 処理	全域の早期 ・普通期。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・ヘラオモ ダカ・ヒルムシロ。 〔但し、ミズガヤ ツリは寒冷地・ 温暖地西部普通 期・暖地早期の み。ヘラオモダ カは寒地・寒冷 地・温暖地西部 普通期のみ。ヒ ルムシロは寒冷 地・温暖地西部・ 暖地普通期のみ。〕	+1～ノビエ1.5 Lまで。 〔但し、寒地は+ 1～+10（ノビ エ1 Lまで）。 寒冷地は+3～ +10（ノビエ1 Lまで）。温暖 地は+3～ノビ エ1.5 Lまで。 ホタルイ・ヘラオ モダカ；2 Lまで。 〔但し、寒冷地以 北は発生始まで。〕 ウリカワ；2 Lま で。 〔但し、寒冷地以 北は発生始まで。〕 ミズガヤツリ；2 Lまで。 ヒルムシロ；発生 期。〕	300 g/a 〔但し、温 暖地東部 は300～ 400。〕	砂壤土～埴 土（2 cm/ 日以下）。 〔但し、暖 地早期は （1.5 cm /日以下）。 寒地の砂 壤土は （1.5 cm /日以下）。 温暖地東 部は砂壤 土を除く。 温暖地西 部の早期 は埴土 （1 cm/ 日以下）。 暖地普通 期は埴土 ～埴土 （1.5 cm /日以下）。〕	(1) 泥炭質土壌で は、ウリカワに 対する効果が低 下することがあ る。 (2) 著しい高温条 件下の砂壤土水 田ではクロロシ スの発生するこ とがあるので注 意する。
	⑬ SL-496 ①粒 （ワンオール）	土 壌 処理	全域の早期・ 普通期。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・ヘラオモ ダカ・ヒルムシロ。 〔但し、ミズガヤ ツリは寒地を除 く。〕	+0～ノビエ2 L まで。 〔但し、寒地は+ 3～ノビエ1.5 Lまで。 ホタルイ・ウリカ ワ・ヘラオモダカ；	g/a 300～400 〔但し、+ 0～+2 は300の み。〕	砂壤土～埴 土（2 cm/ 日以下）。 〔但し、温 暖地西部 （近畿・ 中国）普	(1) 泥炭質土壌で は、ウリカワに 対する効果が低 下することがあ る。 (2) 著しい高温条 件下の砂壤土水

区分	薬 剂 名	処理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
II 1. 移植後土壌処理 (つづき)	⑬ SL-496 ①粒 (つづき)			く、ヘラオモダカは温暖地東部以北のみ。ヒルムシロは温暖地西部以西の早期を除く。	2 Lまで。 〔但し、寒地は発生始まで。 ミズガヤツリ；発生始まで。 〔但し、暖地早期〕は2 Lまで。 ヒルムシロ；発定期。		通期の砂壤土は(1.5 cm/日以下)。暖地の砂壤土は(1 cm/日以下)。寒地・寒冷地北部・温暖地西部(四国)の普通期は砂壤土を除く。温暖地西部の早期は埴壤土(1 cm/日以下)。暖地普通期は砂壤土(1 cm/日以下)。・壤土～埴土(1.5 cm/日以下)。	田ではクロロシスの発生することがあるので注意する。
	⑭ SL-498 粒	土 壌 処 理	寒冷地以西の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離・ウキクサ。 〔但し、ミズガヤツリは暖地普通期を除く。ヘラオモダカは寒冷地のみ。ヒルムシロは温暖地東部早期・暖地早期を除く。ウキクサは温暖地東部普通期のみ。アオミドロは温暖地東部普通期を除く。表層剥離は温暖地東部普通期・暖地早期を除く。〕	+3～ノビエ2 Lまで。 〔但し、寒冷地北部はノビエ1.5 Lまで。 ホタルイ；2 Lまで。 〔但し、寒冷地は発生始まで。 ウリカワ；2 Lまで。 〔但し、暖地普通期は発生始まで。 ミズガヤツリ；発生始まで。 〔但し、寒冷地・温暖地西部早期〕は2 Lまで。 ヘラオモダカ；2 Lまで。 ヒルムシロ・ウキクサ；発定期。 アオミドロ・表層剥離；発生前。 〔但し、温暖地西部の早期は発生前～始。暖地のアオミドロは発定期。〕	300 g/a	砂壤土～埴土(2 cm/日以下)。 〔但し、温暖地西部以西は(1.5 cm/日以下)。寒冷地北部は砂壤土を除く。温暖地西部の早期は埴土～埴土(1 cm/日以下)。	(1) 泥炭質土壌ではウリカワに対する効果が低下することがある。 (2) 著しい高温条件下の砂壤土水田ではクロロシスの発生することがあるので注意する。 (3) トリアジン系除草剤の使用上の注意を守る。
	⑮ SL-652 粒	土 壌 処 理	温暖地東部・暖地の普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガ	+3～ノビエ1.5 Lまで。 〔但し、温暖地東	300 g/a	砂壤土～埴土(1.5 cm/日以下)。	(1) トリアジン系除草剤の使用上の注意を

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 1. 移植後土壌処理（つづき）	⑮ <u>SL-652</u> 粒 (つづき)			ヤツリ・ヒルムシロ・アオミドロ。 〔但し、ヒルムシロ・アオミドロは暖地のみ。〕	部は+3～+5 (ノビエ1Lまで)。 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヒルムシロ; 発生 始まで。 〔但し、暖地のホタルイ・ウリカワは2Lまで。〕 アオミドロ; 発生 期。		〔但し、温暖地東部は埴土～埴土(2cm/日以下)。〕	守る。 (2) 著しい高温条件下の砂埴土ではクロロシスの発生することがあるので注意する。 (3) 田植前に生育したミズガヤツリは完全に防除してから使用する。
	⑯ <u>SLT-651</u> 粒	土 壌 処 理	暖地の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヒルムシロ。 〔但し、ミズガヤツリは早期のみ。ヒルムシロは普通期のみ。〕	+3～ノビエ1.5Lまで。 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ; 2Lまで。 ヒルムシロ; 発生 始まで。	300 g/a	砂埴土～埴土(1.5cm/日以下)。	
	⑰ <u>STS-735</u> 粒	土 壌 処 理	寒冷地・温暖地の普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・アオミドロ・表層剥離。 〔但し、アオミドロ・表層剥離は温暖地西部のみ。〕	+3～+7(ノビエ1Lまで)。 〔但し、温暖地西部は+3～+5〕 ホタルイ; 発生 始まで。 アオミドロ・表層剥離; 発生前。	300 g/a	埴土～埴土(2cm/日以下)。 〔但し、温暖地西部(近畿・中国)は(1.5cm/日以下)。(四国)は埴土～埴土(1cm/日以下)。〕	(1) コナギ多発田では早目に処理する。 (2) 広葉多発田での使用はさける。
	⑱ <u>TSH-355</u> 粒 (オリザガード*)	土 壌 処 理	全域の普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ミズガヤツリ。 〔但し、ミズガヤツリは寒冷地北部・温暖地のみ。〕	+3～ノビエ1.5Lまで。 ホタルイ; 2Lまで。 〔但し、寒冷地・温暖地西部(四国)は発生始まで。〕 ミズガヤツリ; 発生 始まで。	300 g/a	砂埴土～埴土(2cm/日以下)。 〔但し、温暖地西部は(1cm/日以下)。〕 寒地の砂埴土は(1.5cm/日以下)。 寒冷地・温暖地東部・温暖地西部(四国)は砂埴土を除く。	(1) 広葉多発田での使用はさける。
	⑲ <u>TSJ-756</u> 粒	土 壌 処 理	寒地・寒冷地・温暖地西部以西の普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ。	+3～ノビエ1.5Lまで。 〔但し、温暖地西部(近畿・中国)〕	300 g/a	埴土～埴土(2cm/日以下)。 〔但し、温	

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適 用 土 壌	使用上の注意
Ⅱ 1. 移植後土壌処理（つづき）	①⑨ TSJ-756 粒 (つづき)			〔但し、ミズガヤツリは寒冷地・温暖地西部のみ。ヘラオモダカは寒地・寒冷地北部のみ。〕	〔は+5～ノビエ1.5Lまで。〕 ホタルイ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ；発生始まで。		〔温暖地西部以西は（1cm/日以下）。温暖地西部は砂壌土（1cm/日以下）を含む。〕	
	②⑩ TSS-344 粒	土 壌 処 理	寒冷地・暖地の普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ。 〔但し、ウリカワは寒冷地北部・暖地のみ。ミズガヤツリ・ヒルムシロは暖地のみ。ヘラオモダカは寒冷地北部のみ。〕	+3～ノビエ1.5Lまで。 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ；2Lまで。 ヒルムシロ；発生始まで。	300 g/a	砂壌土～埴土（1.5cm/日以下）。 〔但し、寒冷地は埴土～埴土（2cm/日以下）。〕	(1) 田植前に生育したミズガヤツリは完全に妨除してから使用する。
	②⑪ Y-873 粒	土 壌 処 理	寒冷地・温暖地東部・暖地の普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・	+3～ノビエ1.5Lまで。 ホタルイ；2Lまで。 〔但し、寒冷地北部・温暖地東部は発生始まで。〕	300 g/a	埴土～埴土（2cm/日以下）。 〔但し、温暖地東部は砂壌土（1.5cm/日以下）を含む。暖地は埴土～埴土（1.5cm/日以下）。〕	
	②⑫ CG-155 B粒	土 壌 処 理	寒地。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ。	+5～ノビエ2Lまで。 ホタルイ・ヘラオモダカ；2Lまで。	300 g/a	埴土～埴土（2cm/日以下）。	
	②⑬ CG-155 B①粒	土 壌 処 理	全域の早期・普通期。 〔但し、寒冷地南部を除く。〕	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ。 〔但し、ウリカワは温暖地西部のみ（近畿・中国の普通期を除く）。ミズガヤツリは温暖地以西の早期・温暖地東部の普通期のみ。ヘラオモダカは寒地・寒冷地北部のみ。〕	+5～ノビエ2Lまで。 〔但し、暖地は+5～ノビエ1.5Lまで。〕 ホタルイ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ；2Lまで。 〔但し、温暖地東部のミズガヤツリは発生前。ウリカワ；発生始まで。〕	300 g/a	埴土～埴土（2cm/日以下）。 〔但し、温暖地西部は（1cm/日以下）。（近畿・中国の普通期）は埴土を除く。温暖地東部の早期は砂壌土～埴土（1cm/日以下）。暖地の早	

区分	薬 剤 名	処 理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適 用 土 壌	使用上の注意
Ⅱ ― 3. 移植後土壌処理 (つづき)	㉓ CG-155 B①粒 (つづき)						期は壇 土～壇 土(1.5cm /日以下). 暖地の普 通期は壇 土～壇 土(2cm /日以下).	
	㉔ DPX-84 A 粒 (ウルフ25)	土 境 処 理	全域の普通 期・温暖地 東部の早期.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・オモダカ・ ヘラオモダカ・ク ログワイ・ヒルム シロ・エゾノサヤ ヌカグサ・シズイ・ アオミドロ・表層 剥離. 〔但し、ミズガヤ ツリは寒地を除 く. オモダカは 寒冷地・温暖地 東部普通期のみ. ヘラオモダカ・ アオミドロ・表 層剥離は寒冷地 以北のみ. クロ グワイ・シズイ は寒冷地のみ. ヒルムシロは寒 地・寒冷地・温 暖地西部のみ. エゾノサヤヌカ グサは寒地のみ.〕	+5～ノビエ2L まで. 〔但し、寒地はノ ビエ1.5Lまで.〕 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ・ ヘラオモダカ; 2 Lまで. オモダカ・クログ ワイ・ヒルムシロ; 発生始まで. エゾノサヤヌカ グサ; 1～4L(草 丈20cm以下). シズイ; 草丈2～ 3cmまで. アオミドロ・表層 剥離; 発生前.	g/a 300～400 〔但し、400 はシズイ のみ.〕	壇土～壇土 (2cm/日 以下). 〔但し、暖 地は壇土 ～壇土 (2cm/ 日以下).〕	(1) 著しい多雨条 件では、除草効 果が低下する場 合があるので使 用はさしひかえ る. (2) クログワイ防 除は、クログワ イに有効な後期 剤との組み合わせ で使用する.
	㉕ DPX-84 AS 粒	土 境 処 理	寒冷地以西 の普通期・ 暖地の早期. 〔但し、温 暖地西部 の四国は 除く.〕	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・ヘラオモ ダカ・ヒルムシロ・ アオミドロ・表層 剥離. 〔但し、ヘラオモ ダカは寒冷地北 部のみ. ヒルム シロは温暖地東 部・暖地の普通 期のみ. アオミ ドロ・表層剥離 は寒冷地・温暖 地西部のみ.〕	+3～ノビエ1.5 Lまで. 〔但し、温暖地西 部以西は+5～ 1.5Lまで.〕 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ・ ヘラオモダカ; 2 Lまで. ヒルムシロ; 発生 始まで. アオミドロ・表層 剥離; 発生前.	300 g/a	砂壇土～壇 土(1.5cm /日以下). 〔但し、暖 地早期の 砂壇土は (1cm/ 日以下). 温暖地以 北は壇土 ～壇土(2 cm/日以 下). 温暖 地西部 は壇土～ 壇土(1 cm/日以 下).〕	
	㉖ NC-311 G 粒	土 境 処 理	全域の普通 期.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・ヘラオモ ダカ・セリ. 〔但し、ウリカワ〕	+3～ノビエ1.5 Lまで. 〔但し、温暖地西 部(近畿・中国)・ 暖地は+3～+ 5(ノビエ1L	300 g/a	砂壇土～壇 土(2cm/ 日以下). 〔但し、温 暖地西部 は(1cm	(1) 深水での処理 はさける.

区分	薬 剤 名	処 理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 1. 3. 移植後土壌処理 (つづき)	②⑥ NC-311 G粒 (つづき)	土 壌 処 理		は暖地を除く。 ミズガヤツリは 寒冷地・温暖地 のみ。ヘラオモ ダカは寒地・寒 冷地北部・温暖 地西部のみ(四 国を除く)。セ リは温暖地西部 のみ(四国を除 く)。	〔まで。 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ・ ヘラオモダカ; 2 Lまで。 〔但し、寒冷地・ 温暖地西部(四 国)・暖地のホ タルイ、寒冷地 ・温暖地東部・ 温暖地西部(四 国)のウリカワ、 寒冷地南部・温 暖地東部・温暖 地西部(四国) のミズガヤツリ、 寒冷地北部・温 暖地西部(近畿 ・中国)のヘラ オモダカは発生 始まで。 セリ; 再生前~始 まで。〕		〔日以下〕。 暖地の砂 壤土は(1 cm/日以 下)。温 暖地東部 以北・温 暖地西部 (四国) は砂壤土 を除く。〕	
	②⑦ NC-311 M粒	土 壌 処 理	全域の普通 期・温暖地 の早期。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・ヘラオモ ダカ・セリ。 〔但し、ウリカワ は暖地を除く。 ミズガヤツリは 寒冷地南部以西 のみ。ヘラオモ ダカは寒冷地以 北のみ。セリは 温暖地西部(近 畿・中国)の普 通期のみ。〕	+5~ノビエ2 L まで。 〔但し、寒地・温 暖地東部普通期・ 温暖地西部(四 国)普通期は+ 5~ノビエ1.5 Lまで。暖地は +2~ノビエ2 Lまで。 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ・ ヘラオモダカ; 2 Lまで。 〔但し、寒冷地の ホタルイ・ウリ カワ・ヘラオモ ダカと暖地のホ タルイ・ミズガ ヤツリは発生始 まで。 セリ; 再生前~始 まで。〕	300 g/a	砂壤土~埴 土(2 cm/ 日以下)。 〔但し、温 暖地西部 (近畿・ 中国)普 通期・暖 地は(1.5 cm/日以 下)。寒 地の砂壤 土は(1.5 cm/日以 下)。寒 冷地北部 は砂壤土 を除く。 温暖地西 部(四国) 普通期は 埴土~埴 土(1 cm/ 日以下)。 温暖地普 通期は埴 土~埴 土(1 cm/ 日以下)〕	(1) ホタルイ多発 田ではホタルイ に有効な中・後 期剤との組み合 せで使用する。
	②⑧ NC-311 R粒 〔Ⅱ-6-(6) と併用〕	土 壌 処 理	全域の普通 期・温暖地 の早期。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・オモダカ・ ヘラオモダカ・セ リ・エゾノサヤヌ カグサ 〔但し、ウリカワ〕	+5~ノビエ2.5 Lまで。 〔但し、温暖地東 部以北・暖地は +5~ノビエ2 Lまで。 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ・	300 g/a	砂壤土~埴 土(2 cm/ 日以下)。 〔但し、温 暖地西部 (近畿・ 中国)普 通期は(1	

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
II 1. 移植後土壌処理 (つづき)	②⑧ NC-311 R粒 (つづき)			は温暖地西部(四国)普通期・暖地を除く。ミズガヤツリは寒地・温暖地西部(四国)普通期を除く。オモダカ・セリは温暖地西部の早期のみ。ヘラオモダカは寒地・寒冷地・温暖地西部(近畿・中国)の普通期のみ。エゾノサヤヌカグサは寒地のみ。	オモダカ・ヘラオモダカ; 2Lまで。セリ; 新葉展開期～増殖初期まで。エゾノサヤヌカグサ; 発生始まで。		cm/日以下。暖地は(1.5cm/日以下)。寒地の砂壌土は(1.5cm/日以下)。寒冷地・温暖地東部普通期は砂壌土を除く。温暖地の早期・温暖地西部(四国)普通期は壌土～埴土(1cm/日以下)。	
	②⑨ ACN粒 (モゲトン)	土壌処理	寒地・寒冷地。	アオミドロ・表層剥離・アオウキクサ・アミミドロ・ウキクサ・イチョウゴケ。 〔但し、アオウキクサ・アミミドロ・ウキクサ・イチョウゴケは寒冷地のみ。〕	雑草・表層剥離; 発生時。 〔但し、寒地は発生前。〕	g/a 100～200 〔但し、寒地は100 ～150g/a〕	壌土～埴土 (2cm/日以下)。	(1) 初期剤との混用または体系処理で使用する。 (2) 処理後の保水に注意する。
	③⑩ プロメトリン粒 (ゲザガード)	土壌処理	温暖地東部以北・暖地の普通期。	アオミドロ・表層剥離。	+3～+5 〔但し、寒冷地は+3～+7。〕 アオミドロ・表層剥離; 発生始まで。 〔但し、寒地は発生前。〕	30～50g/a	砂壌土～埴土(2cm/日以下)。 〔但し、寒地・温暖地東部は砂壌土を除く。暖地は埴壌土～埴土(1cm/日以下)〕。	(1) 初期剤との混用または体系処理で使用する。
	③⑪ CG-SW ①S粒	土壌処理	寒冷地以西の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離・ジャクジモ・ウキクサ。 〔但し、オモダカは寒冷地のみ。ヘラオモダカは寒冷地・温暖地東部普通期のみ。ヒルムシロは寒	+3～ノビエ2Lまで。 〔但し、寒冷地は+3～ノビエ1.5Lまで。〕 ホタルイ; 2Lまで。 〔但し、寒冷地・温暖地東部は発生始まで。〕 ウリカワ; 2Lまで。 〔但し、温暖地東部の早期は発生始まで。〕	300g/a	砂壌土～埴土(2cm/日以下)。 〔但し、暖地早期は(1cm/日以下)。温暖地の早期は壌土～埴土(1cm/日以下)〕。	(1) 著しい高温条件下の砂壌土ではクロロシスの発生するので注意する。 (2) 泥炭質土壌では、ウリカワに対する効果が低下することがある。 (3) 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
II-3. 移植後土壌処理(つづき)	㉑ CG-SW ①S粒 (つづき)			冷地・温暖地の普通期のみ。アオミドロ・表層剥離は寒冷地・温暖地の普通期と温暖地西部以西の早期のみ(暖地の早期は表層剥離を除く)。シャジクモは温暖地東部の普通期のみ。ウキクサは温暖地西部の早期のみ。	ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ; 発生始まで。ヒルムシロ; 発生期。 アオミドロ・表層剥離・シャジクモ・ウキクサ; 発生前。		(1cm/日以下)。寒冷地のオモダカは砂壤土を除く。	する。
	㉒ DPX-84 CG粒 〔II-6-(6)と併用 (ゴロボ25)〕	土壌処理	寒冷地以北。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離・エゾノサヤヌカグサ・セリ。 〔但し、ミズガヤツリ・オモダカは寒冷地のみ。ヒルムシロは寒冷地南部を除く。エゾノサヤヌカグサは寒地のみ。セリは寒冷地北部のみ。〕	+5〜ノビエ1.5Lまで。 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで。 オモダカ; 発生始まで。 ヒルムシロ; 発生期。 〔但し、寒冷地北部は発生始まで。〕 アオミドロ・表層剥離; 発生前。 エゾノサヤヌカグサ; 1〜4L(草丈20cm以下)。セリ; 再生前〜始。	300g/a	壤土〜埴土(2cm/日以下)。	(1) 植付精度不良で、根が露出する水田では使用しない。 (2) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合がありますので使用はさしひかえる。
	㉓ HSW-871粒	土壌処理	寒地。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離。	+3〜ノビエ1.5Lまで。 ホタルイ・ウリカワ・ヘラオモダカ; 2Lまで。 ヒルムシロ; 発生始まで。 アオミドロ・表層剥離; 発生前〜始。	300g/a	砂壤土〜埴土(2cm/日以下)。 〔但し、砂壤土は(1.5cm/日以下)。〕	(1) 泥炭質土壌では、ウリカワに対する効果が低下することがある。 (2) 著しい高温条件下の砂壤土水田ではクロロシスの発生するので注意する。
	㉔ KSS粒 (リワード*)	土壌処理	寒冷地以西の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヒルムシロ。 〔但し、ミズガヤツリは温暖地以西の普通期と温暖地西部以西の早期のみ。ヒルムシロは温暖地東部の普通期のみ。〕	+3〜ノビエ1.5Lまで。 〔但し、暖地は+3〜ノビエ2Lまで。〕 ホタルイ; 2Lまで。 〔但し、寒冷地は発生始まで。〕 ウリカワ; 2Lまで。 〔但し、寒冷地・温暖地西部(近畿・中国)普通	300g/a	砂壤土〜埴土(2cm/日以下)。 〔但し、温暖地西部(近畿・中国)普通期・暖地早期は(1.5cm/日以下)。温暖地東部早期・温暖地西	(1) 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用する。

区分	薬 剤 名	処 理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適 用 土 壌	使用上の注意
Ⅱ 1. 3. 移植後土壌処理(つづき)	㊸ KSS 粒 (つづき)				期・温暖地東部 早期は発生始 まで。 ミズガヤツリ; 2 L まで。 〔但し、温暖地の 普通期(四国を 除く)は発生始 まで。 ヒルムシロ; 発生 期。		部(四国) 普通期は (1cm/ 日以下)。 寒冷地は 砂壤土を 除く、温 暖地西部 の早期は 壤土〜埴 土(1cm /日以下)。	
	㊹ DPX-84 SC 粒 〔Ⅱ-6-(5) Ⅱ-6-(6) と併用。〕 (フジガラス 25*)	茎 葉 兼 土 壌 処 理	全域の早期・ 普通期。 〔但し、温 暖地西部 の早期を 除く。〕	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・オモダカ・ ヘラオモダカ・ク ログワイ・ヒルム シロ・アオミドロ・ 表層剥離・エゾノ サヤヌカグサ・シ ズイ・セリ。 〔但し、ホタルイ は暖地早期を除 く。ウリカワ・ ヒルムシロは暖 地を除く。ミズ ガヤツリは寒地 を除く。オモダ カは寒冷地・温 暖地東部のみ。 ヘラオモダカ・ アオミドロ・表 層剥離は寒冷地 以北のみ、クロ グワイは寒冷地 のみ。エゾノサ ヤヌカグサは寒 地のみ。シズイ ・セリは寒冷地 北部のみ。〕	+5〜ノビエ 2.5 L まで。 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ・ ヘラオモダカ; 2 L まで。 〔但し、暖地のミ ズガヤツリは 3 L まで。 オモダカ; 3 L ま で。 〔但し、寒冷地は 2 L まで。温暖 地東部早期は発 生始まで。 クログワイ・アオ ミドロ・表層剥離 ; 発生始まで。 ヒルムシロ; 発生 期。 〔但し、寒地は発 生始まで。 エゾノサヤヌカ グサ; 1〜4 L (草 丈 20cm 以下)。 シズイ; 発生始〜 草丈 2〜3 cm。 セリ; 発生前〜始	300 g/a	砂壤土(1.5 cm/日以下)。 埴土〜埴土 (2cm/日 以下)。 〔但し、砂 壤土は寒 地のみ。 温暖地西 部は埴土 〜埴土(1 cm/日以 下)〕	(1) 著しい多雨条 件では、除草効 果が低下する場 合があるので使 用はさしひかえ る。 (2) クログワイ防 除は、クログワ イに有効な後期 剤との組み合わせ で使用する。
Ⅱ 1. 4. 茎葉兼土壌処理	① BAS-521 粒	茎 葉 兼 土 壌 処 理	全域の普通 期。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・オモダカ・ ヘラオモダカ・セ リ・エゾノサヤヌ カグサ。 〔但し、ミズガ ヤツリは寒地を除 く。オモダカは 温暖地東部・温 暖地西部(四国) のみ。ヘラオモ ダカは寒冷地北 部以北のみ。エ ゾノサヤヌカグ サは寒地のみ。 セリは温暖地以 西(近畿・中国	+20〜+30(ノビ エ 2〜3.5 L ま で)。 〔但し、寒地はノ ビエ 2〜3 L。 寒冷地はノビエ 2.5〜3.5 L。 温暖地西部以西 は+10〜+20/ エビ 2.5〜3.5 L)。 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ ; 4 L まで。 〔但し、温暖地東 部はホタルイ・ ウリカワ 3.5 L。 ミズガヤツリ 3 L まで。温暖地	300 g/a	砂壤土〜埴 土(2cm/ 日以下)。 〔但し、寒 地の砂壤 土は(1.5 cm/日以 下)、寒 冷地・温 暖地東部 ・温暖地 西部(四 国)は砂 壤土を除 く。暖地 は埴壤土 〜埴土。〕	(1) 落水または浅 水で使用する。 (2) 処理後の灌水 は48〜72時間経 過後に行なう。 (3) 処理後2日以 内に降雨が予想 される場合は使 用をさしひかえ る。 (4) 著しい多雨条 件では、除草効 果が低下する場 合があるので使 用はさしひかえ る。

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
II 4. 茎葉兼土壌処理(つづき)	① BAS-521 粒 (つづき)			[を除く)のみ.]	西部(近畿・中国)はウリカワ・ミズガヤツリ5Lまで。温暖地西部(四国)はホタルイ花茎抽出期まで、ウリカワ・ミズガヤツリ3.5Lまで。暖地はホタルイ3.5L・ミズガヤツリ3Lまで。 オモダカ; 3.5Lまで。 [但し、温暖地東部は1.5Lまで。] ヘラオモダカ; 3Lまで。 エゾノサヤヌカグサ; 1~4L(草丈20cm以下)。セリ; 生育初期まで。 [但し、温暖地西部(四国)は新葉展開~増殖盛期まで。]			
	② BAS-521 水和	茎葉兼土壌処理	全域の普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・エゾノサヤヌカグサ・セリ。 [但し、ホタルイは温暖地西部(四国)を除く。ミズガヤツリは寒地を除く、ヘラオモダカは寒冷地北部以北のみ。エゾノサヤヌカグサは寒地のみ。セリは暖地のみ。]	寒地; +25~+35(ノビエ3.5Lまで)。 寒冷地; +20~+30(ノビエ2.5~4L)。 温暖地東部; +20~+30(ノビエ3~5L)。 温暖地西部; +15~+25(ノビエ3~5L)。 [但し、四国は+15~+20。] 暖地; +15~+20(ノビエ3~4L)。 ホタルイ; 花茎抽出始まで。 [但し、寒冷地南部・温暖地東部は5Lまで。温暖地西部は4Lまで。] ウリカワ; 5Lまで。 [但し、寒地・温暖地西部(四国)は4Lまで。暖地は6Lまで。] ミズガヤツリ; 5Lまで。 [但し、温暖地西]	50 g/a	砂壌土~埴土(2cm/日以下)。 [但し、砂壌土は温暖地西部(近畿・中国)のみ。暖地は埴壌土~埴土。]	(1) 落水または浅水で使用する。 (2) 処理後の溜水は48~72時間経過後に行なう。 (3) 処理後2日以内に降雨が予想される場合は使用をさしひかえる。 (4) 著しい多雨条件では、除草効果が低下する場合があるので使用をさしひかえる。 (5) 散布は水稻になるべくかからないように行なう。

区分	薬 剤 名	処 理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適 用 土 壌	使用上の注意
Ⅱ ― 4. 茎葉兼土壌処理 (つづき)	② BAS-521 水和 (つづき)				部(四国)は4 Lまで。 ヘラオモダカ; 4 Lまで。 エゾノサヤスカグ サ; 1~4 L(草 丈20cm以下)。 セリ; 生育期。			
	③ NTN-806 ①粒 (クロアSM*)	茎葉兼土壌処理	温暖地東部の 普通期。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ。	+12~+18(ノビ エ3 Lまで)。 ホタルイ; 2 Lま で。 ウリカワ; 3 Lま で。	300 g/a	壤土~埴土 (2 cm/日 以下)。	(1) 低気温および 低水温時は薬害 の危険性がある ので使用はさけ る。 (2) トリアジン系 除草剤の使用上 の注意を守る。
Ⅱ ― 5. 適用時期拡大	① BAS-521 粒 〔Ⅱ-6-(2)〕 〔Ⅱ-6-(3)〕 〔Ⅱ-6-(5)〕 と併用。	茎葉兼土壌処理	全域の普通 期・温暖地 の早期。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・オモダカ・ ヘラオモダカ・セ リ・シズイ・エゾ ノサヤスカグサ。 〔但し、ミズガヤ ツリは寒地を除 く。オモダカは 近畿・中国を除 く温暖地の普通 期・温暖地西部 の早期のみ。ヘ ラオモダカは寒 冷地北部以北・ 温暖地西部(近 畿・中国)のみ。 セリは寒冷地南 部と温暖地東部 早期を除く。エ ゾノサヤスカグ サは寒地のみ。 シズイは寒冷地 北部のみ。〕	田植前後土壌処理 した場合 +20~+35(ノビ エ3.5 Lまで)。 〔但し、寒地はノ ビエ3 Lまで。 温暖地西部の早 期は4 Lまで。〕 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ ; 4 Lまで。 〔但し、温暖地西 部以西のホタル イは花茎抽出始 まで。温暖地西 部早期・暖地の ウリカワは5 L まで。温暖地西 部早期のミズガ ヤツリは6 Lま で。暖地のミズ ガヤツリは5 L まで。〕 オモダカ; 矢じり 葉2枚まで。 〔但し、温暖地西 部普通期は生育 初期4~5 Lま で。温暖地西部 早期は矢じり葉 1枚まで。〕 ヘラオモダカ; 3 Lまで。 セリ; 発生盛期~ 増殖初期。 シズイ; 草丈10~ 20 cmまで。 エゾノサヤスカグ サ; 1~4 L(草 丈20 cm以下)。	300 g/a	砂壤土~埴 土(2 cm/ 日以下)。 〔但し、寒 地の砂壤 土は(1.5 cm/日以下)。 暖 地の砂壤 土は(1 cm/日以下)。 寒 冷地・温 暖地の早 期は砂壤 土を除く。〕	(1) 前処理剤との 組み合わせで使用 する。 (2) 落水もしくは 浅水で使用する。 (3) 処理後の灌水 は48~72時間経 過後に行なう。 (4) 処理後2日以 内に降雨が予想 される場合は使用 をさしひかえる。
	② BAS-521 水和		全域の普通 期・温暖地 東部の早期。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ	田植前後土壌処理 した場合 +25~+40(ノビ	50 g/a	砂壤土~埴 土(2 cm/ 日以下)。	(1) 前処理剤との 組み合わせで使用 する。

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 1 5. 適用時期拡大(つづき)	② BAS-521 水和 〔Ⅱ-6-(3) Ⅱ-6-(5) と併用. (つづき)	茎葉兼土壌処理		ヤツリ・ヘラオモ ダカ・セリ・シズ イ・エゾノサヤヌ カグサ. 〔但し、ミズガヤ ツリは寒地を除 く。ヘラオモダ カは寒冷地北部 以北のみ。セリ は寒冷地北部・ 温暖地東部の普 通期・暖地のみ。 エゾノサヤヌカ グサは寒地のみ。 シズイは寒冷地 北部のみ。〕	エ 5 L まで). 〔但し、寒地はノ ビエ 3.5 L まで。 寒冷地北部はノ ビエ 4 L まで。 ホタルイ; 花茎抽 出始まで。 〔但し、温暖地東 部は 5 L まで。 ウリカワ; 6 L ま で。 〔但し、寒地は 4 L まで、寒冷地 は 5 L まで。 ミズガヤツリ; 5 L まで。 ヘラオモダカ; 4 L まで。 セリ; 増殖初期～ 盛期。 シズイ; 草丈 20～ 30 cm。 エゾノサヤヌカグ サ; 1～4 L (草 丈 20 cm 以下)。		〔但し、砂 壤土は温 暖地西部 (近畿・ 中国)の み。温暖 地東部早 期・暖地 普通期は 埴壤土～ 埴土。〕	(2) 落水もしくは 浅水で使用する。 (3) 処理後の灌水 は 48～72 時間経 過後に行なう。 (4) 処理後 2 日以 内に降雨が予想 される場合は使 用をさしひかえ る。 (5) 著しい多雨条 件では除草効果 が低下する場合 があるので使用 はさしひかえる。 (6) 散布は水稲に なるべくかから ないようにする。
	③ CG-SW ① D 粒 (クサホープ D)	土 壌 処 理	寒冷地北部.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・ヘラオモ ダカ・ヒルムシロ・ アオミドロ・表層 剥離.	田植前後土壌処理 した場合. +10～+15 (ノビ エ 1.5 L まで). ホタルイ・ヘラオ モダカ; 発生始ま で。 ウリカワ・ミズガ ヤツリ; 2 L まで。 ヒルムシロ; 発生 期。 アオミドロ・表層 剥離; 発生前。	300 g/a	埴土～埴土 (2 cm/日 以下)。	(1) 前処理剤との 組み合わせで使 用する。
	④ DPX-84 A 粒 (ウルフ 25)	土 壌 処 理	寒地・寒冷 地.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ウ リカワ・ミズガヤ ツリ・オモダカ・ヘ ラオモダカ・クログ ワイ・ヒルムシロ・ア オミドロ・表層剥離 ・エゾノサヤヌカ グサ・シズイ。 〔但し、ミズガヤ ツリ・クログワ イ・シズイは寒 冷地のみ。オモ ダカは寒冷地北 部のみ。アオミ ドロ・表層剥離 ・エゾノサヤヌ カグサは寒地の み。〕	田植前後土壌処理 した場合. +15～+20 (ノビ エ 2 L まで). 〔但し、寒地はノ ビエ 1.5 L まで。 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ ・ヘラオモダカ; 2 L まで。 オモダカ; 発生始 まで。 クログワイ; 発生 期。 ヒルムシロ; 発生 期。 〔但し、寒地は発 生始まで。 アオミドロ・表層 剥離; 発生前～始 エゾノサヤヌカグ サ; 1～4 L (草	300 g/a	埴土～埴土 (2 cm/日 以下)。砂 埴土(1.5 cm /日以下)。 〔但し、砂 埴土は寒 地のみ。〕	(1) 前処理剤との 組み合わせで使 用する。 (2) 著しい多雨条 件下では、除草 効果が低下する 場合があるので、 使用はさしひか える。 (3) クログワイ防 除はクログワイ に有効な後期剤 との組み合わせ で使用する。

区分	薬剤名	処理	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ ― 5. 適用時期拡大 (つづき)	④ DPX-84 A粒 (つづき)				丈20cm以下)。 シズイ; 草丈2~ 3cmまで。			
	⑤ DPX-84 A①粒 (ウルフ17)	土 壌 処 理	寒冷地南部 ・温暖地東 部の普通期。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・オモダカ・ ヒルムシロ。 〔但し、オモダカ は温暖地東部の み。〕	田植前後土壌処理 した場合。 +15~+20(ノビ エ2Lまで)。 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ ; 2Lまで。 オモダカ; 発生始 まで。 ヒルムシロ; 発生 期。	300 g/a	砂壤土~埴 土(2cm/ 日以下)。 〔但し、砂 壤土は寒 冷地南部 のみ。〕	(1) 前処理剤との 組み合わせで使 用する。 (2) 著しい多雨条 件では、除草効 果が低下する場 合があるので、 使用はさしひか える。
	⑥ NC-311 粒 〔Ⅱ-6-(2) Ⅱ-6-(3) と併用。〕	土 壌 処 理	温暖地以北 の早期・普 通期。	一年生非イネ科・ マツバイ・ホタル イ・ウリカワ・ミ ズガヤツリ・オモ ダカ・ヘラオモダ カ・セリ。 〔但し、ミズガヤ ツリは寒地を除 く。オモダカは 寒冷地北部・温 暖地の普通期・ 温暖地西部の早 期のみ。ヘラオ モダカは寒冷地 北部以北のみ。 セリは温暖地西 部のみ(近畿・ 中国の普通期を 除く)。〕	田植前後土壌処理 した場合。 +12~+20。 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ ・ヘラオモダカ; 2Lまで。 オモダカ; 2Lま で。 〔但し、温暖地西 部は発生期。〕 セリ; 増殖初期~ 増殖盛期。 〔但し、早期は新 葉展開期~増殖 初期まで。〕	300 g/a	砂壤土(1.5 cm/日以下)。 壤土~埴土 (2cm/日 以下)。 〔但し、砂 壤土は寒 地のみ。 温暖地東 部普通期 は(1.5 cm/日以 下)。温 暖地東部 早期・温 暖地西部 は(1cm /日以下)〕	(1) 前処理剤との 組み合わせで使 用する。 (2) 著しい多雨条 件では、除草効 果が低下する場 合があるので、 使用はさしひか える。
	⑦ NTN-806 ①粒 (クローSM*)	茎 葉 兼 土 壌 処 理	温暖地以北 の早期・普 通期。 〔但し、温 暖地西部 (四国) の普通期 を除く。〕	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・ヘラオモ ダカ。 〔但し、ミズガヤ ツリは温暖地の 普通期・温暖地 東部の早期のみ。 ヘラオモダカは 寒冷地北部以北 のみ。〕	田植前後土壌処理 した場合。 +20~+25(ノビ エ3Lまで)。 〔但し、寒冷地以 北はイネ5L期 以降。寒地はノ ビエ2Lまで。 寒冷地南部・温 暖地西部の普通 期はノビエ2.5 Lまで。 ホタルイ; 2Lま で。 〔但し、寒冷地は 3Lまで。〕 ウリカワ; 3Lま で。 〔但し、温暖地西 部の普通期は2 Lまで。〕 ミズガヤツリ; 発 生始まで。 〔但し、温暖地西 部の普通期は2 Lまで。〕	300 g/a	砂壤土(1.5 cm/日以下)。 壤土~埴土 (2cm/日 以下)。 〔但し、砂 壤土は寒 地のみ。 温暖地西 部の早期 は(1cm /日以下)。 温暖地東 部の早期 ・温暖地 西部の普 通期は埴 壤土~埴 土(2cm /日以下)〕	(1) 前処理剤との 組み合わせで使 用する。 (2) 低気温および 低水温時は薬害 の危険性がある ので使用はさけ る。 (3) トリアジン系 除草剤の使用上 の注意を守る。 (4) MCP混合剤 の注意事項を守 る。

区分	薬剤名	処理	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 1 5. 適用時期拡大(つづき)	⑦ NTN-806 ①粒 (つづき)				ヘラオモダカ; 2 Lまで。 〔但し、寒冷地北 部は3Lまで。〕			
	⑧ S-28H 粒	茎葉兼土壌処理	温暖地以北 の早期・普 通期。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・オモダカ・ ヘラオモダカ・ア オミドロ・表層剥 離。 〔但し、ミズガヤ ツリは温暖地の 早期・温暖地東 部の普通期のみ。 オモダカは温暖 地西部の早期の み。ヘラオモダ カは寒地のみ。 アオミドロ・表 層剥離は温暖地 西部の普通期の み。〕	田植前後土壌処理 した場合。 +20～+25(ノビ エ2.5Lまで)。 〔但し、寒冷地以 北はイネ5L期 以降。寒地はノ ビエ2Lまで。 温暖地西部の早 期はノビエ3L まで。 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ ・ヘラオモダカ; 2Lまで。 〔但し、温暖地東 部のウリカワは 3Lまで。温暖 地西部のホタル イ・ウリカワは 4Lまで。温暖 地西部のミズガ ヤツリは5Lま で。 オモダカ; 発生期。 アオミドロ・表層 剥離; 発生始まで。〕	300 g/a	砂壤土～埴 土(2cm/ 日以下)。 〔但し、温 暖地西部 の普通期 は(1cm /日以下)。 寒地の砂 壤土は (1.5cm /日以下)。 寒冷地・ 温暖地東 部普通期 は砂壤土 を除く。 温暖地西 部の早期 は埴土～ 埴土(1 cm/日以 下)。温 暖地東部 の早期は 埴土～ 埴土(1 cm/日以 下)〕。	(1) 前処理剤との 組み合わせで使 用する。 (2) トリアジン系 除草剤の使用上 の注意を守る。
Ⅱ 1 6 (1) クロ グ ワイ 対象	① BAS-3510 (Na) ①液							
	② BAS-521 水和							
	③ DPX-84 粒							
	④ DPX-84 B粒							
	⑤ DPX-84 B ①粒							
	⑥ DPX-84 CG粒							
	⑦ DPX-84 CG ①粒							
	⑧ DPX-84 SC ①粒							
	⑨ NC-311 粒							

(クログワイに対して有効であるので、徹底防除の項で継続検討する。)

区分	薬 剤 名	処 理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適 用 土 壌	使用上の注意
Ⅱ 6 ― 1 (1) イ 対象 (つづき) ワ	⑩ NC-311 B①粒							
	⑪ NC-311 R粒							
	⑫ NC-YH 粒							
Ⅱ 6 ― 1 (2) オ モ ダ カ 対 象	① BAS-3510 (Na)① 液 〔Ⅱ-6-(8) と併用. (バサグラン)	茎 葉 処 理	寒冷地北部 ・温暖地東 部・温暖地 西部(四国) の普通期.	オモダカ.	田植前後土壌処理 した場合. ±25~+40. オモダカ; 発生盛 期~増殖初期. 〔但し, 温暖地東 部は5~6 L. 矢じり葉4枚ま で.〕	ml/a 50~70	砂壤土~埴 土(2cm/ 日以下). 〔但し, 温 暖地東部 は(1cm /日以下). 温暖地西 部(四国) は埴土(1 cm/日以 下).〕	(1) 前処理剤との 組み合わせで使 用する. (2) 落水もしくは 浅水で使用する. (3) 処理後の灌水 は, 48~72時間 経過後に行なう. (4) 処理後2日以 内に降雨が予想 される場合は使 用をさしひかえ る. (5) 散布は水稻に なるべくかから ないようにする.
			暖地の早期 ・普通期.	コウキヤガラ.	田植前後土壌処理 した場合. +25~+30. コウキヤガラ; 増 殖期.		砂壤土~埴 土(2cm/ 日以下). 〔但し, 普 通期は砂 壤土を除 く.〕	
	② BAS-521 粒		〔Ⅱ-5-①の項参照〕					
	③ DPX-84 粒	土 壌 処 理	寒冷地・温 暖地東部の 早期・普通 期, 温暖地 西部(四国) の普通期. 〔但し, 温 暖地東部 の普通期 は低温時 移植地帯 に限る.〕	オモダカ.	田植前後土壌処理 した場合. +15~+20. オモダカ; 発生始 まで. 〔但し, 温暖地東 部は発生前.〕	300 g/a	埴土~埴土 (2cm/日 以下). 〔但し, 温 暖地西部 (四国) は(1cm /日以下).〕	(1) 前処理剤との 組み合わせで使 用する. (2) 著しい多雨条 件では, 除草効 果が低下する場 合があるので, 使用はさしひか える.
	④ NC-311 粒		〔Ⅱ-5-⑥の項参照〕					
	⑤ NC-311 B①粒		〔Ⅶ-2-⑩の項参照〕					
Ⅱ 6 ― 3 (3) セ リ 対 象	① BAS-521 粒		〔Ⅱ-5-①の項参照〕					
	② BAS-521 水和		〔Ⅱ-5-②の項参照〕					
	③ NC-311 粒		〔Ⅱ-5-⑥の項参照〕					

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
II-6- (3) (つづき)	④ <u>NC-311</u> <u>B①粒</u>		〔 VII-2-⑩の項参照 〕					
II-6- (5) シズイ対象	① <u>BAS-521</u> <u>粒</u>		〔 II-5-①の項参照 〕					
	② <u>BAS-521</u> <u>水和</u>		〔 II-5-②の項参照 〕					
	③ <u>DPX-84</u> <u>SC粒</u>		〔 II-3-⑤⑤の項参照 〕					
II-6- (6) エゾノサヤヌカグサ対象	① <u>DPX-84</u> <u>B粒</u>	茎葉兼土壌処理	寒地.	エゾノサヤヌカグサ.	エゾノサヤヌカグサ; 1~4 L (草丈20cm以下).	300 g/a	壇土~壇土 (2cm/日以下).	
	② <u>DPX-84</u> <u>CG粒</u>		〔 II-3-⑤②の項参照 〕					
	③ <u>DPX-84</u> <u>SC粒</u>		〔 II-3-⑤⑤の項参照 〕					
	④ <u>NC-311</u> <u>B①粒</u>	茎葉兼土壌処理	寒地.	エゾノサヤヌカグサ.	+5~+15. エゾノサヤヌカグサ; 2~3 L (草丈10cm以下).	300 g/a	壇土~壇土 (2cm/日以下).	
	⑤ <u>NC-311</u> <u>R粒</u>		〔 II-3-⑤③の項参照 〕					
II-6- (8) コウキヤガラ対象	① <u>BAS-3510</u> <u>(Na)①液</u>		〔 II-6-(2)-①の項参照 〕					
	② <u>DPX-84</u> <u>SC①粒</u> (フジガラス17*)	茎葉兼土壌処理	暖地の早期.	<u>コウキヤガラ.</u>	+5~ノビエ2.5 L. コウキヤガラ; 発生始~増殖初期.	300 g/a	砂壇土~壇土 (2cm/日以下).	(1) 著しい多雨条件では, 除草効果が低下する場合がありますので, 使用はさしひかえる. (2) コウキヤガラ防除はペンタゾンを含む後期剤との体系で効果大.
III-1. 湛水直播	① <u>CG-SW</u> <u>L (改) 粒</u>	土 壌 処 理	寒冷地以西.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ヒルムシロ. 〔 但し, ウリカワは寒冷地を除く. ヒルムシロは温暖地西部のみ. 〕	イネ出芽前後~ノビエ2 Lまで. 〔 但し, 寒冷地はノビエ1.5 Lまで, 暖地はイネ1 L~ノビエ1.5 Lまで. 〕 ホタルイ; 発生始まで.	300 g/a	壇土~壇土 (2cm/日以下). 〔 但し, 温暖地西部は砂壇土~壇土 (1cm/日以下). 暖	

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅲ 1. 湛 水 直 播 (つづき)	① CG-SW ㊦(改)粒 (つづき)				〔但し、寒冷地は〕 2 L まで。 ウリカワ; 2 L まで。 〔但し、温暖地東部は発生始まで。〕 ヒルムシロ; 発生期。		地は壇 土～壇土 (2cm/日以下)。	
	② DPX-84 A㊦粒 (ウルフ17)	土 壤 処 理	寒冷地南部。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ。	イネ 1 L～ノビエ 1.5 L まで。 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ ; 発生始まで。	300 g/a	壇土～壇土 (2 cm/日 以下)。	
	③ DPX-84 M㊦粒 (プッシュ17)	土 壤 処 理	寒冷地南部 以西。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・オモダカ・ ヒルムシロ・セリ。 〔但し、ミズガヤ ツリは寒冷地南部 ・温暖地東部の み。オモダカ ・ヒルムシロは 温暖地のみ。セ リは温暖地西部 (近畿・中国) のみ。〕	イネ 1 L～ノビエ 2 L まで。 〔但し、寒冷地南部はイネ 1 L～ ノビエ 1.5 L まで。〕 ホタルイ・ウリカ ワ; 2 L まで。 〔但し、寒冷地南部・温暖地西部 (四国)・暖地は発生始まで。〕 ミズガヤツリ; 2 L まで。 〔但し、寒冷地南部は発生始まで。〕 オモダカ・ヒルム シロ; 発生期。 〔但し、温暖地東部のオモダカは 発生始まで。〕 セリ; 発生前～始。	300 g/a	砂壇土～壇 土(2 cm/日以下)。 〔但し、砂 壇土は寒冷 地南部のみ。温 暖地西部は (1 cm /日以下)〕	
	④ MY-93 E 粒 (ノラミット)	土 壤 処 理	温暖地西部 以西。	一年生雑草・マツ バイ・ウリカワ・ ヒルムシロ。 〔但し、暖地はマ ツバイを除く。 ヒルムシロは温 暖地西部(近畿・ 中国)を除く。〕	+0～ノビエ 2 L まで。 〔但し、温暖地西部はノビエ 1.5 L まで。〕 ウリカワ; 2 L まで。 ヒルムシロ; 発生 始まで。 〔但し、温暖地西部(四国)は増 殖初期まで。〕	g/a 300～400 〔但し、温 暖地西部 は 300 の み。〕	砂壇土～壇 土(1 cm/日以下)。 〔但し、暖 地は壇土 ～壇土(2 cm/日以下)〕	
	⑤ SL-496 ㊦(改)粒	土 壤 処 理	寒冷地・温 暖地西部以西。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ。 〔但し、ウリカワ は温暖地西部以西(四国を除く)〕	イネ 1 L～ノビエ 1.5 L まで。 〔但し、温暖地西部(四国)はノ ビエ 2 L まで。〕 ホタルイ; 2 L まで。 〔但し、温暖地の 普通期は発生始 まで。〕	300 g/a	壇土～壇土 (2 cm/日 以下)。 〔但し、温 暖地西部 は(1 cm /日以下)。 暖地は壇 壇土～壇 土(2 cm /日以下)〕	

区分	薬 剤 名	処 理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適 用 土 壌	使用上の注意
Ⅲ-1. 湛水直播(つづき)	⑥ SL-708 粒	土壌処理	寒冷地以西.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ヘラオモダカ。 〔但し、ホタルイは温暖地以西のみ。ウリカワは温暖地西部以西のみ。ヘラオモダカは寒冷地のみ。〕	+3～ノビエ1.5Lまで。 ホタルイ・ウリカワ; 2Lまで。 ヘラオモダカ; 発生始まで。	300 g/a	埴土～埴土(2cm/日以下)。 〔但し、暖地は埴埴土～埴土。〕	(1) マツバイ多発田での使用はさける。
Ⅲ-2. 乾田直播	① HW-61 水和	茎葉兼土壌処理	温暖地西部以西.	一年生雑草.	播種後～ノビエ5Lまで(入水5日前まで)	60 g/a	温暖地西部; 埴土。暖地; 埴土。	(1) カーバメイト系剤との近接散布をさける。
Ⅳ 畦 畔 雑 草	① DDX 水和	茎葉処理	寒冷地以西.	全草種.	雑草生育期。 〔但し、雑草発生前後なるべく早目に散布する。〕	100～150 g/a 〔但し、温暖地以西(四国を除く)は150gのみ。〕	全 土 壌	(1) ノリ面散布はさける。 (2) 流入、飛散等による水稲への薬害に注意する。
	② グリホサート液(ラウンドアップ)	茎葉処理	全 域.	全草種.	雑草生育期。 〔但し、寒地は雑草生育期～積雪前。〕	一年生雑草; 25～50 ml/a。 多年生雑草; 75～100 ml/a。 少量散布の場合; 25 ml/a。希釈水量 2.5 l/a でも有効。	全 土 壌	(1) ノリ面散布はさける。 (2) 流入、飛散等による水稲への薬害に注意する。 (3) 年1回程度の使用にとどめる。 (4) 少量散布の場合は専用の散布機を用いる。
	③ グリホサート水溶	茎葉処理	寒冷地・温暖地西部以西.	全草種.	雑草生育期.	50～75 g/a 〔但し、寒冷地は40～60 g/a。〕 少量散布(希釈水量 2.5 l/a)でも有効。	全 土 壌	(1) ノリ面散布はさける。 (2) 流入、飛散等による水稲への薬害に注意する。 (3) 少量散布の場合は専用の散布機を用いる。
	④ Hoe-866 液(バスタ)	茎葉処理	全 域.	全草種.	雑草生育期	寒地; 75～100 ml/a。 寒冷地・温暖地東部; 50～100 ml/a。 温暖地西部; 30～75 ml/a。 暖地; 50～75 ml/a。	全 土 壌	(1) ノリ面散布はさける。 (2) 流入、飛散等による水稲への薬害に注意する。
	⑤ HOK-15 ①細粒	土壌処理	寒冷地・温暖地西部以西.	全草種.	雑草発生前～発生始期.	寒冷地; 500～1,000 g/a。	全 土 壌	(1) ノリ面散布はさける。 (2) 流入、飛散等

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
IV 畦 畔 雑 草 (つづき)	⑤ HOK-15 ①細粒 (つづき)					温暖地西部 ; 700 ~ 1,000 g /a. 暖地: 1,000 g/a.		による水稻への 薬害に注意する.
	⑥ MON-8794 液 (ポラリス*)	茎 葉 処 理	全 域. 〔但し、温 暖地東部 を除く.〕	全草種.	雑草生育期(草丈 20~30 cm).	寒冷地以北 ; 30~50 ml/a. 温暖地西部 以西; 40~ 50ml/a. 少量散布(希 釈水量 2.5 l/a)でも 有効(寒地 のみ).	全 土 壤	(1) ノリ面散布は さける. (2) 流入、飛散等 による水稻への 薬害に注意する. (3) 少量散布の場 合は専用の散布 機を用いる.
	⑦ MR-28 液	茎 葉 処 理	全 域.	全草種.	雑草生育期.	30~50 ml 少量散布(希 釈水量 2.5 l/a)でも 有効(寒地 ・温暖地).	全 土 壤	(1) ノリ面散布は さける. (2) 流入、飛散等 による水稻への 薬害に注意する. (3) 少量散布の場 合は専用の散布 機を用いる.
	⑧ MW-831 水溶 (ハービエー ス*)	茎 葉 処 理	寒冷地以西.	全草種.	雑草生育期.	寒冷地; 30 ~75 g/a. 温暖地以西 ; 50~75 g/a.	全 土 壤	(1) ノリ面散布は さける. (2) 流入、飛散等 による水稻への 薬害に注意する.
	⑨ MW-DC 水和	茎 葉 兼 土 壌 処 理	寒冷地・温 暖地西部(四 国).	全草種.	雑草生育期 〔但し、雑草発生 前後なるべく早 目に散布する.〕	50~75g/a	全 土 壤	(1) ノリ面散布は さける. (2) 流入、飛散等 による水稻への 薬害に注意する.
	⑩ YF-65 ①液 (プリグロッ クス①)	茎 葉 処 理	温暖地以北. 〔但し、北 陸を除く.〕	全草種.	雑草生育期(草丈 20~30 cm).	寒冷地北部 以北; 60~ 100ml/a. 温暖地以西 ; 80~100 ml/a.	全 土 壤	(1) ノリ面散布は さける. (2) 流入、飛散等 による水稻への 薬害に注意する.
V 耕 起 前 雑 草	① グリホサート 液 (ラウンドア ップ)	茎 葉 処 理	寒冷地以西.	一年生雑草・キシ ュウスズメノヒエ.	一年生雑草; 耕起 前40~20日. キシュウスズメノ ヒエ; 耕起前20~ 10日.	一年生雑草 ; 25~50 ml/a. キシュウス ズメノヒエ ; 50~100 ml/a. 少量散布の 場合: 薬量 25ml/a, 希釈水量 2.5 l/aで も有効.	全 土 壤	(1) 周辺の作物に 飛散しないよう に注意する. (2) 希釈水量は出 来るだけ少なく 茎葉に付着する ように散布する. (3) 少量散布の場 合は、専用の散 布機を使用する.

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適 用 土 壌	使用上の注意
V 耕 起 前 雑 草 (つづき)	② グリホサート 水溶	茎葉処理	寒冷地・温暖地西部以西.	一年生雑草.	耕起前40日～20日 (雑草生育期)	寒冷地; 40～60 g/a. 温暖地西部以西; 50～75 g/a. 〔但し, 四国は30～75 g/a.〕 少量散布(希釈水量 2.5 l/a)でも有効.	全 土 壌	(1) 周辺の作物に飛散しないように注意する. (2) 希釈水量は出来るだけ少なく茎葉に付着するように散布する. (3) 少量散布の場合は, 専用の散布機を使用する.
	③ Hoe-866 液 (バスタ)	茎葉処理	寒冷地以西.	一年生雑草.	耕起前20日～15日 (雑草生育期)	30～50ml/a	全 土 壌	(1) 周辺の作物に飛散しないように注意する.
	④ MON-8794 液 (ポラリス*)	茎葉処理	寒冷地・温暖地西部以西.	寒冷地; 一年生雑草・イネ科多年生雑草. 温暖地西部; 一年生雑草. 暖地; 一年生雑草 ・キシウスズ メノヒエ.	耕起前40日～20日 (雑草生育期)	寒冷地; 30～50ml/a 温暖地西部以西; 40～50ml/a. 少量散布(希釈水量 2.5 l/a)でも有効.	全 土 壌	(1) 周辺の作物に飛散しないように注意する. (2) 希釈水量は出来るだけ少なく茎葉に付着するように散布する. (3) 少量散布の場合は, 専用の散布機を使用する.
	⑤ MW-831 水溶 (ハービエース*)	茎葉処理	寒冷地・温暖地.	一年生雑草.	耕起前40日～20日 (雑草生育期)	寒冷地; 30～75ml/a. 温暖地; 50～75ml/a.	全 土 壌	(1) 周辺の作物に飛散しないように注意する.
	⑥ YF-65 ①液 (プリグロックス①)	茎葉処理	温暖地.	一年生雑草.	耕起前20日～10日 (雑草生育期)	温暖地東部; 80～100ml/a. 温暖地西部; 60～100ml/a.	全 土 壌	(1) 周辺の作物に飛散しないように注意する.
VII 体系是正 VII 1. 初期一発処理剤	① CG-SW ①D粒 (クサホーブD)	土壌処理	寒冷地以西の普通期, 温暖地の早期.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・アオミドロ・シャジクモ・ウキクサ・表層剥離. 〔但し, ヘラオモダカは寒冷地・温暖地東部のみ. ヒルムシロ・表層剥離は暖地を除く. シャジクモは温暖地東部のみ. ウキクサは温暖地西部のみ.〕	+3～ノビエ2Lまで. 〔但し, 寒冷地はノビエ1.5Lまで.〕 ホタルイ・ウリカワ; 2Lまで. 〔但し, 寒冷地・温暖地東部のホタルイは発生始まで.〕 ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 発生始まで. ヒルムシロ; 発生期. アオミドロ・シャジクモ・ウキクサ・表層剥離; 発生前.	300 g/a	砂壤土～埴土(2cm/日以下). 〔但し, 砂壤土は温暖地東部の早期・温暖地の普通期(四国を除く)のみ. 暖地は埴土～埴土.〕	(1) 泥炭質土壌では, ウリカワに対する効果が低下することがある. (2) 著しい高温条件下の砂壤土水田ではクロロシスの発生することがあるので注意する. (3) 田植前に生育したミズガヤツリは, 完全に防除してから使用する.

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適用草種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅶ 1. 初期一発処理剤(つづき)	② CG-SW ①S粒	土 壌 処 理	寒冷地・温暖地西部以西の早期・普通期(四国の普通期を除く)。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・アオミドロ・ウキクサ・表層剥離。 〔但し、ヘラオモダカは寒冷地のみ。ヒルムシロは寒冷地・温暖地西部の普通期のみ。ウキクサは温暖地西部の早期のみ。アオミドロは暖地の普通期を除く。表層剥離は暖地を除く。〕	+3～ノビエ2Lまで。 〔但し、寒冷地は〕ノビエ1.5Lまで。 ホタルイ・ウリカワ；2Lまで。 〔但し、寒冷地の〕ホタルイは発生始まで。 ミズガヤツリ・ヘラオモダカ；発生始まで。 ヒルムシロ；発生期。 アオミドロ・ウキクサ・表層剥離；発生前。	300 g/a	壤土～埴土(2cm/日以下)。 〔但し、温暖地西部早期は(1cm/日以下)。暖地早期は砂壤土～埴土(1cm/日以下)。暖地普通期は埴壤土～埴土(1cm/日以下)〕	(1) 泥炭質土壌では、ウリカワに対する効果が低下することがある。 (2) 著しい高温条件下の砂壤土水田ではクロロシスの発生することがあるので注意する。 (3) 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用する。
	③ DPX-84 A①粒 (ウルフ17)	土 壌 処 理	寒冷地南部以西の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離・クサネム・セリ。 〔但し、オモダカ・クサネムは温暖地東部の普通期のみ。ヒルムシロは温暖地の普通期・温暖地東部の早期のみ。アオミドロ・表層剥離は寒冷地・温暖地西部の普通期のみ。セリは温暖地西部(近畿・中国)の普通期のみ。〕	+5～ノビエ2Lまで。 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ；2Lまで。 オモダカ；発生始まで。 ヒルムシロ；発生期。 〔但し、温暖地西〕部は発生始まで。 アオミドロ・表層剥離；発生前。 クサネム；発生前～本葉展開期。 セリ；再生前～始。	300 g/a	砂壤土～埴土(2cm/日以下)。 〔但し、温暖地西部普通期の砂壤土は近畿・中国(1.5cm/日以下)。四国(1cm/日以下)。温暖地西部早期は埴壤土～埴土(1cm/日以下)。暖地普通期は埴壤土～埴土(2cm/日以下)〕	(1) 著しい多雨条件下では除草効果が低下する場合があるので、使用はさしひかえる。
	④ DPX-84 CG粒 (ゴルボ25)	土 壌 処 理	寒冷地北部。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・セリ・アオミドロ・表層剥離。	+5～ノビエ1.5Lまで。 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ；2Lまで。 オモダカ・ヒルムシロ；発生始まで。 セリ；再生前～始。 アオミドロ・表層剥離；発生前。	300 g/a	埴土～埴土(2cm/日以下)。	(1) 著しい多雨条件下では除草効果が低下するので、使用はさしひかえる。 (2) 植付精度不良で、根が露出する水田では使用しない。

区分	薬剤名	処理	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅶ 1. 初期一発処理剤(じっき)	⑤ DPX-84 CG①粒 (ゴルボ17)	土壌処理	寒冷地南部 以西の普通 期・温暖地 の早期。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・オモダカ・ ヘラオモダカ・ヒ ルムシロ・セリ・ アオミドロ・表層 剥離。 〔但し、オモダカ は温暖地東部の 普通期のみ。 ヒルムシロは温 暖地東部の普通 期のみ。 ヘラオモダカは 寒冷地南部のみ。 セリは温暖地西 部のみ(近畿・ 中国の普通期を 除く)。 アオミドロ・表 層剥離は寒冷地 南部・温暖地西 部のみ(四国の 普通期を除く)〕	+5～ノビエ1.5 Lまで。 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ・ ヘラオモダカ; 2 Lまで。 〔但し、温暖地西 部早期のホタル イ・温暖地西部 (四国)のホタ ルイ・ミズガヤ ツリは発生しま で。 オモダカ; 発生始 まで。 ヒルムシロ; 発生 期。 セリ; 再生前～始。 アオミドロ・表層 剥離; 発生前。〕	300 g/a	壇土～壇土 (2cm/日 以下)。 〔但し、温 暖地西部 (四国普 通期は除 く)は(1 cm/日以 下)、暖 地は壇土 ～壇土 (2cm/ 日以下)〕	(1) 著しい多雨条 件では除草効果 が低下する場合 があるので使用 はさしひかえる。 (2) 植付精度不良 で、根が露出す る水田では使用 しない。
	⑥ DPX-84 M①粒	土壌処理	寒冷地南部 以西の早期 ・普通期。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・オモダカ・ ヒルムシロ・アオ ミドロ・セリ。 〔但し、オモダカ は寒冷地南部・ 温暖地東部の普 通期のみ。 ヒルムシロは暖 地の早期を除く。 アオミドロは温 暖地西部の普通 期のみ。 セリは温暖地西 部(四国の普通 期を除く)・暖 地普通期のみ。〕	+5～ノビエ2 L まで。 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ ; 2 Lまで。 オモダカ; 発生始 まで。 ヒルムシロ; 発生 期。 アオミドロ; 発生 前。 セリ; 再生前～始。	300 g/a	砂壇土～壇 土(2cm/ 日以下)。 〔但し、温 暖地西部 普通期の 砂壇土は (1.5cm /日以下)。 温暖地西 部早期は 砂壇土を 除く。〕	(1) 著しい多雨条 件下では除草効 果が低下する場 合があるので使 用はさしひかえ る。
	⑦ KSS 粒 (リワード*)	土壌処理	温暖地以西 の普通期・ 温暖地西部 以西の早期。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・ヒルムシ ロ。 〔但し、ヒルムシ ロは温暖地東部 のみ。〕	+3～ノビエ2 L まで。 〔但し、温暖地は ノビエ1.5 Lま で。〕	300 g/a	砂壇土～壇 土(2cm/ 日以下)。 〔但し、温 暖地西部 (近畿・ 中国)の 普通期・ 暖地早期 は(1.5 cm/日以 下)。 温暖地西	(1) 田植前に生育 したミズガヤツ リは、完全に防 除してから使用 する。

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅶ 1. 初期一発処理剤(つづき)	⑦ KSS 粒 (つづき)						部(四国)の普通期は(1cm/日以下). 温暖地西部の早期は壌土(1cm/日以下).	
	⑧ PSS 粒	土壌処理	暖地の普通期.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヒルムシロ.	+3~ノビエ2Lまで. ホタルイ; 2Lまで. ウリカワ; 2Lまで. ミズガヤツリ; 発生始まで. ヒルムシロ; 発生期.	300 g/a	砂壌土~壌土(1.5cm/日以下).	(1) 田植前に生育したミズガヤツリは, 完全に防除してから使用する.
	⑨ S-473 ①粒 (サリオ)	土壌処理	温暖地以西の <u>早期・普通期</u> .	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヒルムシロ. 〔但し, オモダカは暖地の普通期のみ. 温暖地以西の普通期・温暖地西部の早期のみ.〕	+3~ノビエ1.5Lまで. 〔但し, 温暖地東部の普通期は+1~(ノビエ1.5Lまで). 温暖地西部の普通期は+3~+5(ノビエ1Lまで). 暖地の早期は+3~+7(ノビエ1Lまで). ホタルイ; 2Lまで. 〔但し, 暖地早期のホタルイは発生始まで.〕 ウリカワ; 2Lまで. ミズガヤツリ; 2Lまで. 〔但し, 温暖地東部のミズガヤツリは発生始まで.〕 オモダカ; 発生始まで. ヒルムシロ; 発生始まで. 〔但し, 暖地普通期のヒルムシロは発生期.〕	300 g/a	砂壌土~壌土(2cm/日以下). 〔但し, 温暖地東部早期・暖地早期は(1cm/日以下). 温暖地西部普通期の砂壌土は(1.5cm/日以下). 温暖地西部の早期は壌土~壌土(1cm/日以下).〕	(1) 著しい高温条件下の砂壌土水田ではクロロシスの発生するので注意する. (2) 田植前に生育したミズガヤツリは, 完全に防除してから使用する.
	⑩ SL-495 粒 (ノックワン)	土壌処理	温暖地以西の <u>早期・普通期</u> .	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガ	+1~+7(ノビエ1Lまで). 〔但し, 温暖地東	300 g/a	砂壌土~壌土(2cm/日以下).	

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅶ 1. 初期一発処理剤(つづき)	⑩ SL-495 粒 (つづき)	土 壌 処 理		ヤツリ・ヒルムシロ。 〔但し、ミズガヤツリは暖地の普通期を除く。ヒルムシロは普通期のみ。〕	部は+3～ノビエ1.5Lまで。 温暖地西部は+3～+7(ノビエ1Lまで)。 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ；2Lまで。 ヒルムシロ；発生期。 〔但し、温暖地西部は発生始まで。〕		〔但し、暖地は(1.5cm/日以下)。温暖地西部早期は(1cm/日以下)。温暖地普通期の砂壤土は(1cm/日以下)。温暖地東部早期は壤土～埴土(1cm/日以下)。〕	
	⑪ TSM-344 粒	土 壌 処 理	暖地の普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヒルムシロ。	+3～ノビエ1.5Lまで。 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ；発生始まで。 ヒルムシロ；発生期。	300 g/a	砂壤土～埴土(1.5cm/日以下)。	(1) 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用する。
	⑫ DPX-84 A粒 (ウルフ25)	土 壌 処 理	寒地・寒冷地。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・エゾノサヤヌカグサ・アオミドロ・表層剥離。 〔但し、ミズガヤツリ・アオミドロ・表層剥離は寒冷地のみ。ヘラオモダカ・ヒルムシロ・エゾノサヤヌカグサは寒地のみ。〕	+7～ノビエ2Lまで。 〔但し、寒地はノビエ1.5Lまで。〕 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ；2Lまで。 ヒルムシロ；発生期。 アオミドロ・表層剥離；発生始まで。 エゾノサヤヌカグサ；1～4L(草丈20cm以下)。	300 g/a	壤土～埴土(2cm/日以下)。	(1) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合がありますので、使用はさしひかえる。
	⑬ DPX-84 M粒 (プッシュ25)	土 壌 処 理	温暖地東部以北の普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・エゾノサヤヌカグサ・アオミドロ・表層剥離。 〔但し、ミズガヤツリは寒地を除く。ヘラオモダカは寒冷地以北のみ。ヒルムシロ・エゾノサヤヌカグサは寒地のみ。アオミドロ・表層剥離は寒冷地のみ。〕	+5～ノビエ2Lまで。 〔但し、寒地は+7～ノビエ1.5Lまで。寒冷地は+7～ノビエ2Lまで。〕 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ；2Lまで。 ヒルムシロ；発生期。 アオミドロ・表層剥離；発生前。 エゾノサヤヌカグサ；1～4L(草丈20cm以下)。	300 g/a	砂壤土～埴土(2cm/日以下) 〔但し、寒地の砂壤土は(1.5cm/日以下)。寒冷地は砂壤土を除く。〕	(1) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合がありますので、使用はさしひかえる。

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
VII 2. 初・中期一発処理剤	① BSS 粒	茎葉兼土壌処理	寒地・温暖地西部(四国)以西の早期・普通期.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ. 〔但し、ミズガヤツリは寒地を除く。ヘラオモダカ・ヒルムシロは寒地のみ。〕	+5~ノビエ2Lまで. 〔但し、寒地・暖地の早期はノビエ2.5Lまで。〕 ホタルイ・ウリカワ・ヘラオモダカ; 2Lまで。 ミズガヤツリ; 発生始まで。 ヒルムシロ; 発生期.	300 g/a	壤土~埴土(2cm/日以下). 〔但し、温暖地西部の普通期は(1cm/日以下). 暖地の普通期は(1.5cm/日以下). 早期は埴壤土~埴土(1cm/日以下).〕	(1) 泥炭質土壌では、ウリカワに対する効果が低下することがある。 (2) 広葉雑草・マツバイ多発田では水管理に留意する。 (3) 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用する。
	② DPX-84 B粒	茎葉兼土壌処理	寒冷地北部.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・セリ・アオミドロ・表層剥離.	+5~ノビエ2.5Lまで。 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで。 ヒルムシロ; 発生期。 セリ; 発生前~始。 アオミドロ・表層剥離; 発生始まで。	300 g/a	壤土~埴土(2cm/日以下).	(1) 著しい多雨条件では、除草効果が低下する場合がありますので、使用はさしひかえる。
	③ DPX-84 B①粒	茎葉兼土壌処理	寒冷地南部以西の早期・普通期.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・セリ・アオミドロ・表層剥離. 〔但し、ヘラオモダカは寒冷地南部のみ。ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離は温暖地東部の普通期のみ。セリは温暖地西部のみ(近畿・中国の普通期を除く).〕	+5~ノビエ2.5Lまで。 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで。 ヒルムシロ; 発生期。 セリ; 再生前~始。 アオミドロ・表層剥離; 発生前.	300 g/a	壤土~埴土(2cm/日以下). 〔但し、温暖地西部(四国)の普通期は(1cm/日以下). 温暖地西部以西の普通期(四国を除く)・温暖地以西の早期は埴壤土~埴土(1cm/日以下).〕	(1) 著しい多雨条件では、除草効果が低下する場合がありますので、使用はさしひかえる。
	④ DPX-84 SC粒 (フジグラス25*)	茎葉兼土壌処理	寒冷地北部.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・セリ・アオミドロ・表層剥離.	+5~ノビエ2.5Lまで。 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで。 ヒルムシロ; 発生期。 セリ; 発生前~始。 アオミドロ・表層剥離; 発生始まで。	300 g/a	壤土~埴土(2cm/日以下).	(1) 著しい多雨条件では、除草効果が低下する場合がありますので、使用はさしひかえる。

区分	薬 剤 名	処 理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適 用 土 壌	使用上の注意
Ⅷ 1. 2. 初・中期一発処理剤(つづき)	⑤ DPX-84 SC①粒 (フジグラス 17*)	茎葉兼土壌処理	寒冷地南部 以西の <u>早期</u> ・ <u>普通期</u> 。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・ヒルムシ ロ・セリ。 〔但し、ヒルムシ ロは温暖地西部 の普通期のみ。 セリは温暖地西 部(近畿・中国) の普通期・暖地 の早期のみ。〕	+3～ノビエ2.5 Lまで。 〔但し、温暖地西 部は+5～ノビ エ2.5Lまで。〕 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ ；2Lまで。 ヒルムシロ；発生 期。 セリ；再生前～始。	300 g/a	砂壌土～埴 土(2cm/日 以下)。 〔但し、暖地 は(1.5cm /日以下)。 温暖地西部 普通期は(1 cm/日以下)。 寒冷地は砂 壌土を除く。 温暖地の早 期は埴壌土 ～埴土(1 cm/日以下)〕	(1) 著しい多雨条 件では除草効果 が低下する場合 があるので使用 はさしひかえる。
	⑥ DPX-84 T粒 (ザーク25)	茎葉兼土壌処理	寒地・寒冷 地。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・オモダカ・ ヘラオモダカ・ヒ ルムシロ・エゾノ サヤヌカグサ・セ リ・アオミドロ・ 表層剥離。 〔但し、ミズガヤ ツリ・オモダカ は寒地のみ。 エゾノサヤヌカ グサは寒地のみ。 セリは寒冷地北 部のみ。〕	+5～ノビエ2.5 Lまで。 〔但し、寒地はノ ビエ2Lまで。〕 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ ・ヘラオモダカ； 2Lまで。 オモダカ；発生始 まで。 ヒルムシロ；発生 期。 〔但し、寒地は発 生始まで。〕 アオミドロ・表層 剥離；発生前～始。 〔但し、寒冷地は 発生始。〕 エゾノサヤヌカグ サ；1～4L(草 丈20cm以下) セリ；再生前～始。	300 g/a	埴土～埴土 (2cm/日 以下)。 〔但し、寒 地は砂壌 土(1.5 cm/日以 下)を含む。〕	(1) 著しい多雨条 件では除草効果 が低下する場合 があるので使用 はさしひかえる。 (2) 植付精度不良 で、根が露出す る水田では使用 しない。
	⑦ DPX-84 T①粒 (ザーク17)	茎葉兼土壌処理	寒冷地南部 以西の <u>早期</u> ・ <u>普通期</u> 。 〔但し、暖 地の普通 期は除く。〕	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・オモダカ・ クログワイ・ヒル ムシロ・アオミド ロ・表層剥離・セ リ。 〔但し、オモダカ ・アオミドロ・ 表層剥離は寒冷 地南部・温暖地 西部のみ。クロ グワイは暖地 のみ。ヒルムシ ロは温暖地のみ。 セリは温暖地西 部の普通期のみ。 表層剥離は寒冷 地南部・温暖地 西部(近畿・中 国)の普通期の み。〕	+5～ノビエ2.5 Lまで。 〔但し、温暖地西 部の普通期・暖 地はノビエ3L まで。〕 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ ・オモダカ；2L まで。 ヒルムシロ・クロ グワイ；発生期。 セリ；再生前～始。 アオミドロ・表層 剥離；発生前。	300 g/a	埴土～埴土 (2cm/日 以下)。 〔但し、温 暖地西部 早期は(1 cm/日以 下)。暖 地は砂壌 土～埴土 (1.5cm /日以下)〕	(1) 著しい多雨条 件では除草効果 が低下する場合 があるので使用 はさしひかえる。 (2) 植付精度不良 で、根が露出す る水田では使用 しない。

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
VII 1. 初・中期一発処理剤(つぎ)	⑧ DPX-84 TD①粒 (ザークD17*)	茎葉兼土壌処理	寒冷地南部以西の早期・普通期。 〔但し、温暖地西部の早期は除く。〕	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヒルムシロ・セリ・アオミドロ・表層剥離。 〔但し、オモダカ・アオミドロ・表層剥離は寒冷地南部のみ。ヒルムシロは温暖地以西の普通期のみ(近畿・中国を除く)。セリは温暖地西部(四国)の普通期・暖地の早期のみ。〕	+5～ノビエ3Lまで。 〔但し、温暖地東部以北・温暖地西部(四国)はノビエ2.5Lまで。〕 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ; 2Lまで。 ヒルムシロ; 発生期。 セリ; 再生前～始。アオミドロ・表層剥離; 発生前。	300 g/a	壤土～埴土(2cm/日以下)。 〔但し、暖地普通期は(1.5cm/日以下)。温暖地西部(四国)は(1cm/日以下)。暖地早期は砂壤土～埴土(1.5cm/日以下)。〕	(1) 植付精度不良で、根が露出する水田では使用しない。 (2) 著しい多雨条件では、除草効果が低下する場合があるので、使用はさしひかえる。
	⑨ FSS-115 粒 (リードゾン)	茎葉兼土壌処理	全域の普通期・温暖地西部以西の早期。 〔但し、温暖地東部の植付け時低温地帯は除く。〕	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ。 〔但し、ミズガヤツリは寒地を除く。ヘラオモダカは寒冷地以北のみ。ヒルムシロは普通期のみ。〕	+5～ノビエ2.5Lまで。 〔但し、寒地はノビエ2Lまで。〕 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで。 ヒルムシロ; 発生期。 〔但し、寒冷地以北は発生始まで。〕	300 g/a	砂壤土～埴土(2cm/日以下)。 〔但し、暖地普通期は(1.5cm/日以下)。寒地の砂壤土は(1.5cm/日以下)。温暖地西部(四国)普通期の砂壤土は(1cm/日以下)。寒冷地・温暖地(四国を除く)普通期・暖地早期は砂壤土を除く。温暖地西部早期は埴土～埴土(1cm/日以下)。〕	(1) 泥炭質土壌では、ウリカワに対する効果が低下することがある。 (2) 植付精度不良で、根が露出する水田では使用しない。 (3) 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用する。
	⑩ NC-311 B①粒 〔Ⅱ-6-(2) Ⅱ-6-(3) と併用。〕	茎葉兼土壌処理	寒冷地以西の普通期。温暖地の早期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・セリ。 〔但し、オモダカは寒冷地北部・温暖地東部の普通期のみ。ヘラオモダカは寒冷地北部のみ。ヒ	+5～ノビエ2.5Lまで。 〔但し、暖地はノビエ2Lまで。〕 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ; 2Lまで。 ヒルムシロ; 発生期。 セリ; 再生前～始。	300 g/a	埴土～埴土(2cm/日以下)。 〔但し、温暖地東部早期・温暖地西部普通期は(1cm/日以下)。暖地は(1.5cm	(1) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので、使用はさしひかえる。

区分	薬 剤 名	処 理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
VII 1. 初・中期一発処理剤 (つづき)	⑩ NC-311 B⑩粒 (つづき)			ルムシロは温暖地西部以西(近畿・中国を除く)の普通期のみ。 セリは寒冷地北部・温暖地東部以西の普通期(近畿・中国を除く)のみ。			／日以下)。 温暖地西部早期は 埴土(1 cm/日以下)。	
	⑪ SL-641 粒	茎葉兼土壌処理	温暖地東部・暖地の普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヒルムシロ。 〔但し、ヒルムシロは暖地のみ。〕	+5～ノビエ2.5 Lまで。 ホタルイ・ウリカワ; 2 Lまで。 ミズガヤツリ; 発生始まで。 ヒルムシロ; 発生期。	300 g/a	砂埴土～埴土(1.5 cm/日以下)。 〔但し、温暖地東部は埴土～埴土(2 cm/日以下)〕。	(1) 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用する。
	⑫ YH-453 粒 (エスドラム)	茎葉兼土壌処理	全域の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ。 〔但し、ミズガヤツリは寒地を除く。ヘラオモダカは寒地以北のみ。ヒルムシロは温暖地東部以北のみ。〕	+5～ノビエ2.5 Lまで。 〔但し、寒地はノビエ2 Lまで。〕 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2 Lまで。 ヒルムシロ; 発生期。	g/a 300～400 〔但し、寒冷地以北・温暖地以西の早期は300のみ。〕	砂埴土～埴土(2 cm/日以下)。 〔但し、温暖地普通期は(1.5 cm/日以下)。寒地・温暖地西部普通期の砂埴土は(1.5 cm/日以下)。寒冷地・暖地早期は砂埴土を除く。温暖地西部早期は埴土(1 cm/日以下)〕。	(1) 泥炭質土壌では、ウリカワに対する効果が低下することがある。 (2) 著しい高温条件下の砂埴土水田では、クロロシスの発生することがあるので注意する。 (3) 一年生広葉雑草多発田では400 g/aとし、特にヒメミソハギが多発する水田での使用はさける。
VII 3. 長期持続型一発処理剤	① NH-725 粒	茎葉兼土壌処理	寒冷地北部。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離。	+10～ノビエ2.5 Lまで。 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ; 2 Lまで。 ヒルムシロ; 発生期。 アオミドロ・表層剥離; 発生始まで。	300 g/a	埴土～埴土(2 cm/日以下)。	
VII 4. 補正一散布法	① DPX-84 A粒 (ウルフ25)	土壌処理	寒冷地北部。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・アオミドロ・表層剥離。	田植前後に初期剤を補正散布した場合。 +7～ノビエ2 Lまで。 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ;	300 g/a	埴土～埴土(2 cm/日以下)。	(1) 初期剤を田植前または田植後に200 g/a程度補正散布することにより、除草効果向上。

区分	薬 剤 名	処 理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適 用 土 壌	使用上の注意
Ⅶ 4 (1)	① <u>DPX-84</u> A粒 (つづき)				2 Lまで。 アオミドロ・表層剥離; 発生始まで。			
	② <u>DPX-84</u> M粒 (プッシュ25)	土 壌 処 理	寒冷地北部。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・アオミドロ・表層剥離。	田植前後に初期剤を補正散布した場合。 +7～ノビエ2 Lまで。 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2 Lまで。 アオミドロ・表層剥離; 発生前。	300 g/a	埴土～埴土(2 cm/日以下)。	(1) 初期剤を田植前または田植後に200 g/a程度補正散布することにより、除草効果向上。
Ⅶ 4 (2)	① <u>ブタクロール2,5</u> 粒 (マーシェット)	土 壌 処 理	寒冷地・温暖地東部の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ。 〔但し、ホタルイは寒冷地のみ。〕	補正散布(田植前または田植後)。 ノビエ; 1 Lまで。 ホタルイ; 発生始まで。	$\frac{g}{a}$ 150～200	砂埴土～埴土(2 cm/日以下)。	(1) 初期一発処理剤の前処理として、田植前または田植後の補正散布(150～200 g/a)が可能。
	② <u>MO-338</u> 粒 (MO)	土 壌 処 理	寒冷地・温暖地東部の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ。	補正散布(田植前または田植後)。 ノビエ; 1 Lまで。	$\frac{g}{a}$ 200～300	砂埴土～埴土	(1) 初期一発処理剤の前処理として、田植前または田植後の補正散布(200～300 g/a)が可能。
	③ <u>MTS-1</u> 粒 (ショウロNM)	土 壌 処 理	寒冷地・温暖地東部の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ。	補正散布(田植前または田植後)。 ノビエ; 1 Lまで。 ホタルイ; 発生始まで。	$\frac{g}{a}$ 150～200	砂埴土～埴土(2 cm/日以下)。	(1) 初期一発処理剤の前処理として、田植前または田植後の補正散布(150～200 g/a)が可能。
	④ <u>G-315</u> 乳 (ロンスター)	土 壌 混 和 処 理	寒冷地・温暖地東部の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ。	補正散布(田植前)。	$\frac{ml}{a}$ 25～35 (原液散布)	砂埴土～埴土(2 cm/日以下)。	(1) 初期一発処理剤の前処理として、田植前の補正散布(25～35 ml/a)が可能。
	⑤ <u>G-315</u> B乳 (デルカット)	土 壌 混 和 処 理	寒冷地・温暖地東部の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ。	補正散布(田植前)。	$\frac{ml}{a}$ 25～35 (原液散布)	砂埴土～埴土(2 cm/日以下)。	(1) 初期一発処理剤の前処理として、田植前の補正散布(25～35 ml/a)が可能。

注) 1. アンダーライン実線は本年度拡大された部分。点線はその一部が拡大されたものを示す。

2. 薬剤名欄の下段に商品名〔 () 内〕または農薬登録後予定される商品名を〔 () 内*印付〕を参考の為に記載した。